

あい証券株式会社

iTrading マニュアル



Copyright 2010 City Credit Capital (Labuan) Ltd.
City Credit Capital (Labuan) Ltd is a licensed foreign exchange broker, providing both on-line and traditional brokerage services to institutional investors and individuals.
Our strength and focus is in providing the client with the means and service in which to trade from,

あい証券株式会社
第一種・第二種金融商品取引業
商品先物取引業
東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー 7階
関東財務局長(金商)第 236 号
日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会加入
0120-849-188(フリーダイヤル) / 03-3568-5088(代表)
info@isec.jp(Eメール)

目次

第1章	スタートする前に.....	3
1.1.	iTrading 最新情報	3
1.2.	システム要件	5
1.3.	iTrading の入手方法	5
1.4.	インストール	6
1.5.	JAVA バージョンマシン.....	10
第2章	システム概要.....	13
2.1.	取引レート	13
2.2.	未決済注文	15
2.3.	口座サマリー	16
2.4.	図表	17
2.5.	ニュース.....	19
2.6.	メニューバー	21
2.7.	ステータスバー	21
2.8.	指値注文.....	22
2.8.1.	新規指値.....	22
2.8.2.	新規指値注文履歴	23
2.8.3.	決済指値.....	25
2.8.4.	決済指値注文履歴	26
2.9.	取引履歴.....	27
2.9.1.	本日取引履歴	27
2.9.2.	過去取引履歴	28
2.10.	決済履歴.....	29
2.11.	お知らせ.....	30
2.12.	ポジションサマリー	31
2.13.	取扱い商品概要.....	32
第3章	システム設定.....	34
3.1.	設定	34
3.1.1.	取扱い商品設定	34
3.1.2.	設定	36
3.1.3.	フォント	37
3.1.4.	外観	39
3.1.5.	レイアウト	39
3.1.6.	パスワードの変更	41
3.2.	ウィンドウズ	41
3.2.1.	移動	42
3.2.2.	並べて表示	42
3.2.3.	重ねて表示	42
3.2.4.	すべて最小化	43
3.2.5.	すべて閉じる	44
第4章	ログイン	44
4.1.	アプレット認証.....	47
4.2.	ログアウト	47
4.3.	ログイン警告	49
4.3.1.	不正ログアウト.....	49
4.3.2.	ログイン無効	49
第5章	指値注文の種類.....	51
5.1.	週末	51
5.2.	指値/逆指値/OCO	51
第6章	新規成行	53

第 7 章	成行決済	54
7.1.	成行決済注文	54
7.2.	併用決済	55
7.3.	成行決済注文及び手動減少決済指値	56
第 8 章	新規指値	58
8.1.	新規指値伝票の追加	58
8.2.	新規指値伝票の修正	59
8.3.	新規指値注文の取消	61
第 9 章	決済指値	63
9.1.	決済指値伝票の追加	63
9.2.	決済指値伝票の修正	67
9.3.	決済指値伝票の取消	69
第 10 章	図表	71
10.1.	通貨ペア	71
10.2.	チャート種類	72
10.3.	時間目盛	73
10.4.	テクニカル指標	76
10.5.	補助線 / 表示	79
10.6.	拡大	82
10.7.	チャートの注文	84
第 11 章	アカウント	86
11.1.	パスワードの変更	86
11.2.	口座サマリー	87
11.2.1.	明細書表示	88

第1章 スタートする前に

1.1. iTrading 最新情報

新機能により、iTrading はより一層操作しやすいアプリケーションになり、1 日 24 時間グローバルマーケットで外国為替を取引されるお客様の操作性と効率性を最大化します。

メニューバー

新しいメニューバーは選択項目を追加し、より集約した便利な方法を提供し、これにより取引プラットフォームで利用できる数多くの機能を選択できます。

構成

この機能により、取引レートパネルで見たいと思う一連の商品及び情報コラムを選択できます。又、Quote パネルに表示される情報向けにフォントスタイルやサイズを設定することができます。

レイアウト

iTrading により、貴方の用途に最も適した異なる情報パネルを選択し、サイズ変更し、位置を設定することができます。好みのレイアウト設定を保存し、次回 iTrading をログオンする際に読み戻すことができます。

確定の設定

この機能により、発注する前にシステムに注文を確定させたいか否かを選択できます。

応答伝票の設定

この機能により、貴方が受信したいある種のシステム応答メッセージを選択することができます。

表示

メニューバーにある「ビュー」から様々な情報パネルをすべて選択できます。各情報パネルは独立しており、貴方の好みに従いサイズを変更したり、位置を設定したりできます。

ウィンドウズ

このメニューは、開いた情報パネルに適用する共通操作機能を提供します。

1.2. システム要件

プラットフォーム Windows

- Windows 98SE 以上 e
- インテル Pentium III プロセッサー600 MHz 以上
- 128 MB RAM 以上 (256 MB 推奨)
- JAVA バージョン 1.4 以上

1.3. iTrading の入手方法

iTrading プラットフォームにログインするには2つの方法があり、Web 版又はソフトウェアのダウンロード版の何れかを用います。



図 1

Web 版

1. iTrading システムを開始するには、「起動」ボタンをクリックします。

ダウンロード版

- A. Windows 用 iTrading をダウンロードします。
- B. MacOS 用 iTrading をダウンロードします。

- パスワードをなくした場合、「パスワードを忘れた方」のリンクに続いて下さい。
- Java JRE をダウンロードします。

ログインの詳細については、第3章を参照して下さい。

1.4. インストール

iTrading のダウンロードインストールパッケージの場所を特定し、それをダブルクリックします。これによりインストールが始まります。



図 2

1. 「開く」をクリックして、インストールを開始します。



図 3

2. 「次へ」のボタンをクリックして、続けます。

このスクリーンでは、貴方が iTrading をご自身のコンピュータにインストールしたい場所を選択できます。デフォルトの場所のままにされることを推奨します。



図 4

3. 「次へ」のボタンをクリックして、続けます。

ここでは、貴方がプログラムのショートカットを置きたいと思うフォルダを選択できます。ここでも、デフォルトのフォルダ名のままにされることを推奨します。

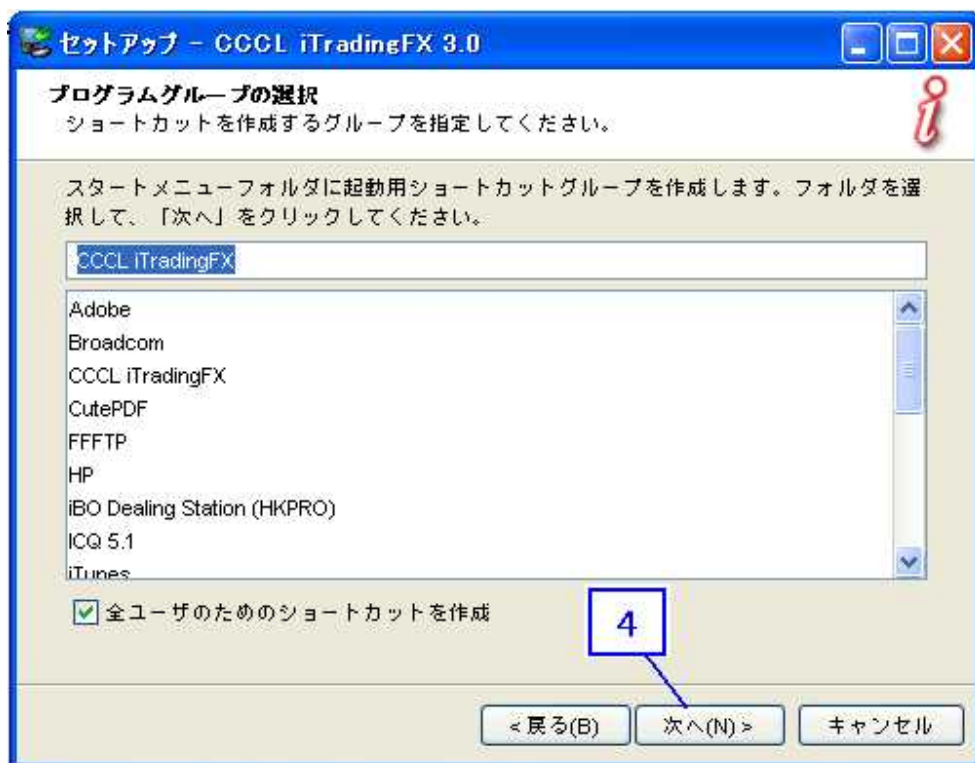


図 5

4. 「次へ」のボタンをクリックして、続けます。

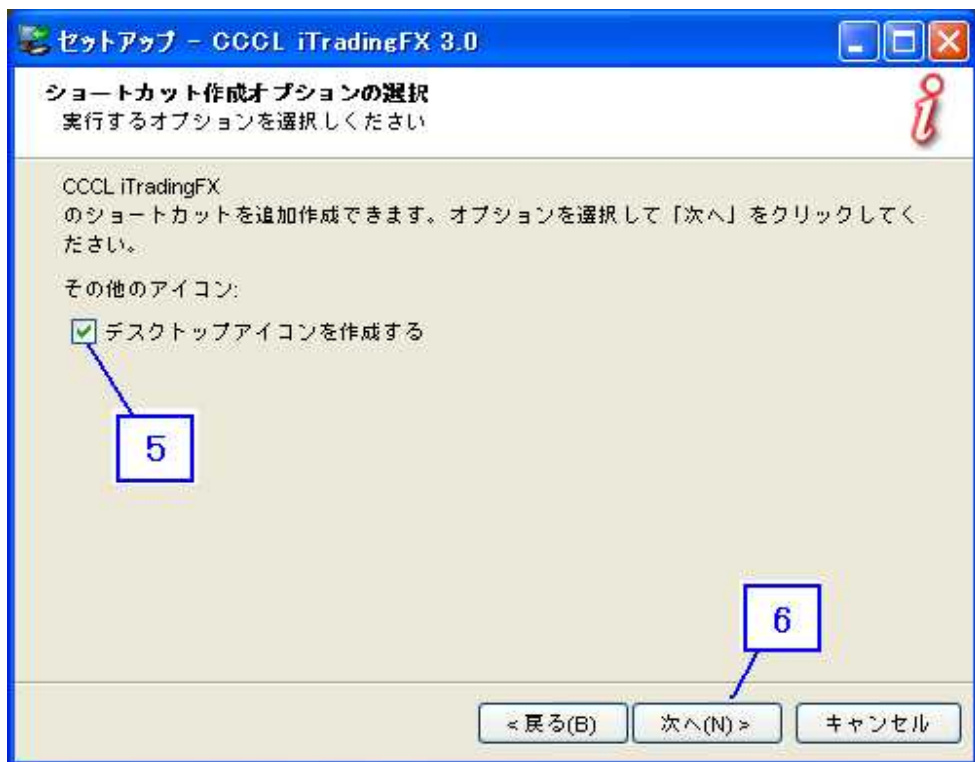


図 6

5. デスクトップに iTrading のアイコンを作成したいのであれば、このチェックボックスにチェックマークを付けて下さい。このオプションを選択されることを推奨します。
6. 「次へ」のボタンをクリックして、インストールを完了します。



図 7

7. 「終了」をクリックして、セットアップを終了します。

インストールが完了すると、貴方のコンピュータのデスクトップに「itrading」のアイコンが表示されるはずです。

1.5. JAVA バーチャルマシン

Itrading システムは JAVA バーチャルマシン (「Java VM」) が存在するか否かをチェックします。インストールされていない場合、システムは自動的に Java VM をコンピュータにインストールします。



図 8

ソフトウェアを「解凍」する過程を追跡するダイアログボックスが表示されます。ロゴを表示する画面が短時間表示された後、インストーラは下記に示すライセンス契約を表示します。

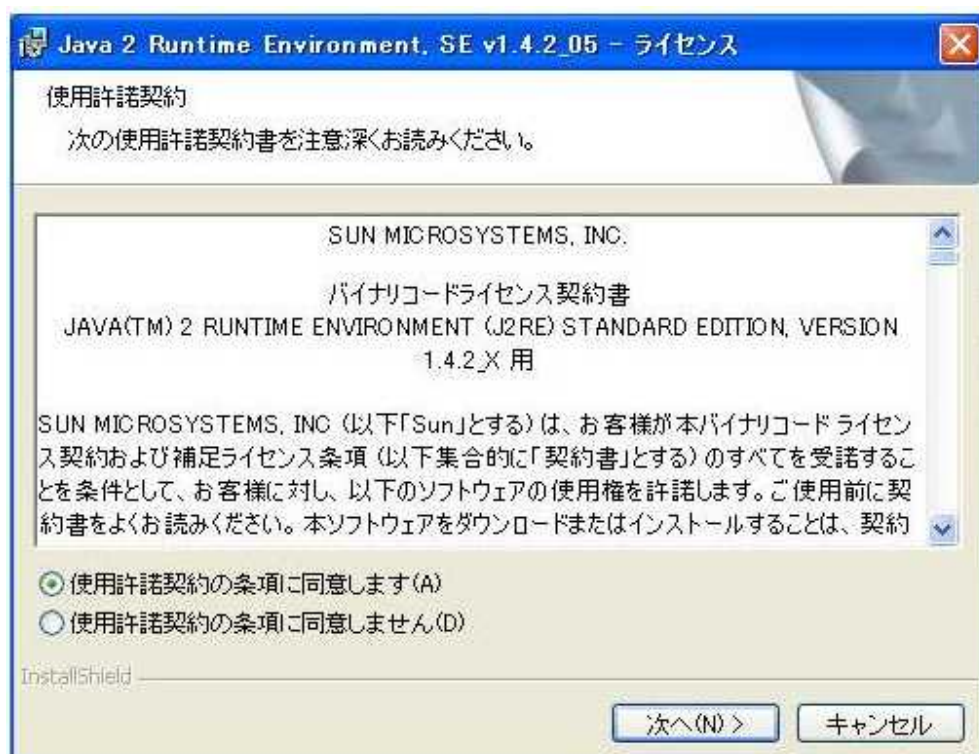


図 9

1. 「使用許諾契約の条項に同意します(I accept the terms in the license agreement.)」というラジオボックスにチェックマークを付けて、サン・マイクロシステムズとの契約に同意する前に、表示されたライセンス契約を読んで下さい。
2. 「次へ」のボタンをクリックして、続けます。

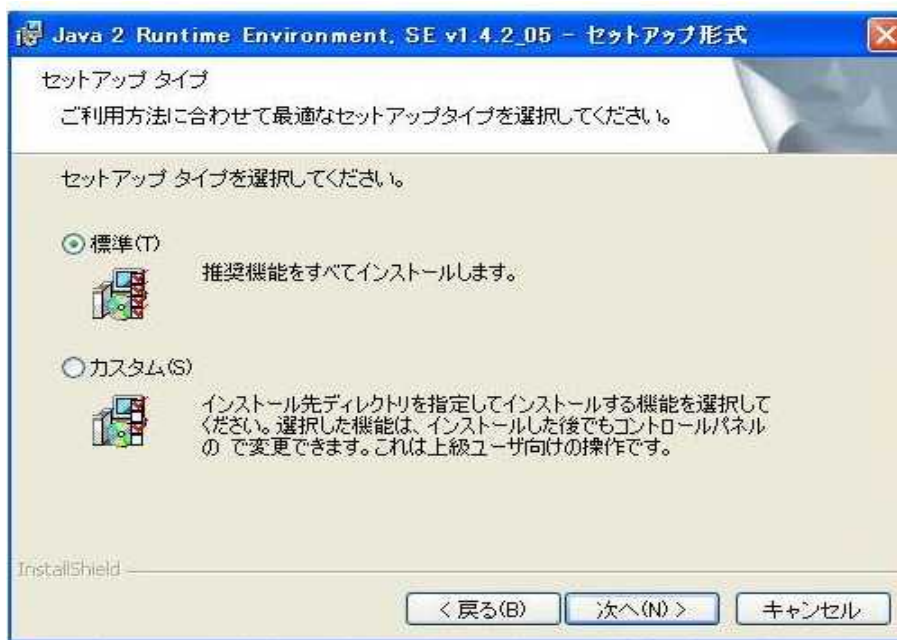


図 10

その後、セットアップタイプの画面が表示され、通常セットアップ又はカスタムセットアップの何れかを選択できます。インストールするコンポーネントについてより詳細な管理を望む上級ユーザーでない限り、Typical のオプション（デフォルトの選択）を選ばれることを推奨します。

3. 「標準」インストールのラジオボックスにチェックマークを付けます。
4. 「次へ」のボタンをクリックして、続けます。

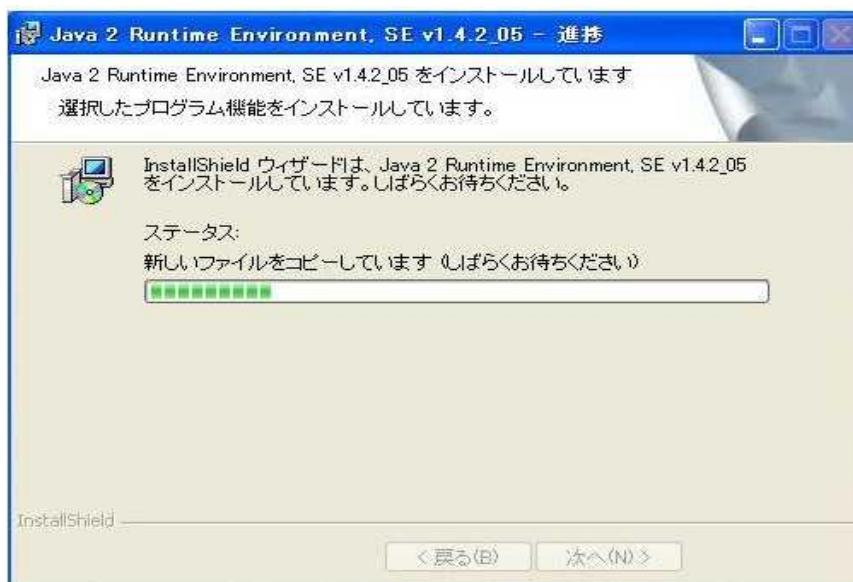


図 11

インストール過程を追跡する Progress ボックスが表れます。2、3 の短いダイアログにより、インストール過程が最終段階にあることを確認します。「インストールが完了しました」という完了のメッセージが表示されるはずです。

第2章 システム概要

ログインに成功した後、ユーザーは、iTrading のメインページに 7 枚のデフォルトのパネルが表示されていることがわかるでしょう。(1) 画面左上にはリアルタイム価格ビューア - 取引レートがあり、(2) 画面左下には成行注文パネル - 未決済注文があり、(3) 画面右下にはまた、アカウント一覧 (Account Summary) パネルがあり、(4) 画面右上にはリアルタイムチャートがあり、(5) 画面右下にはリアルタイムニュースパネルがあり、(6) 画面の上方にはメニューバーがあり、(7) 画面の下方にはステータスバーがあります。iTrading は容易に利用でき、注文を速く執行できるように設計されています。ユーザーは 2、3 のボタンに触れるのとほとんど同時に、リアルタイムで価格を監視でき、現在のポートフォリオをチェックでき、新規注文を実行することができます。

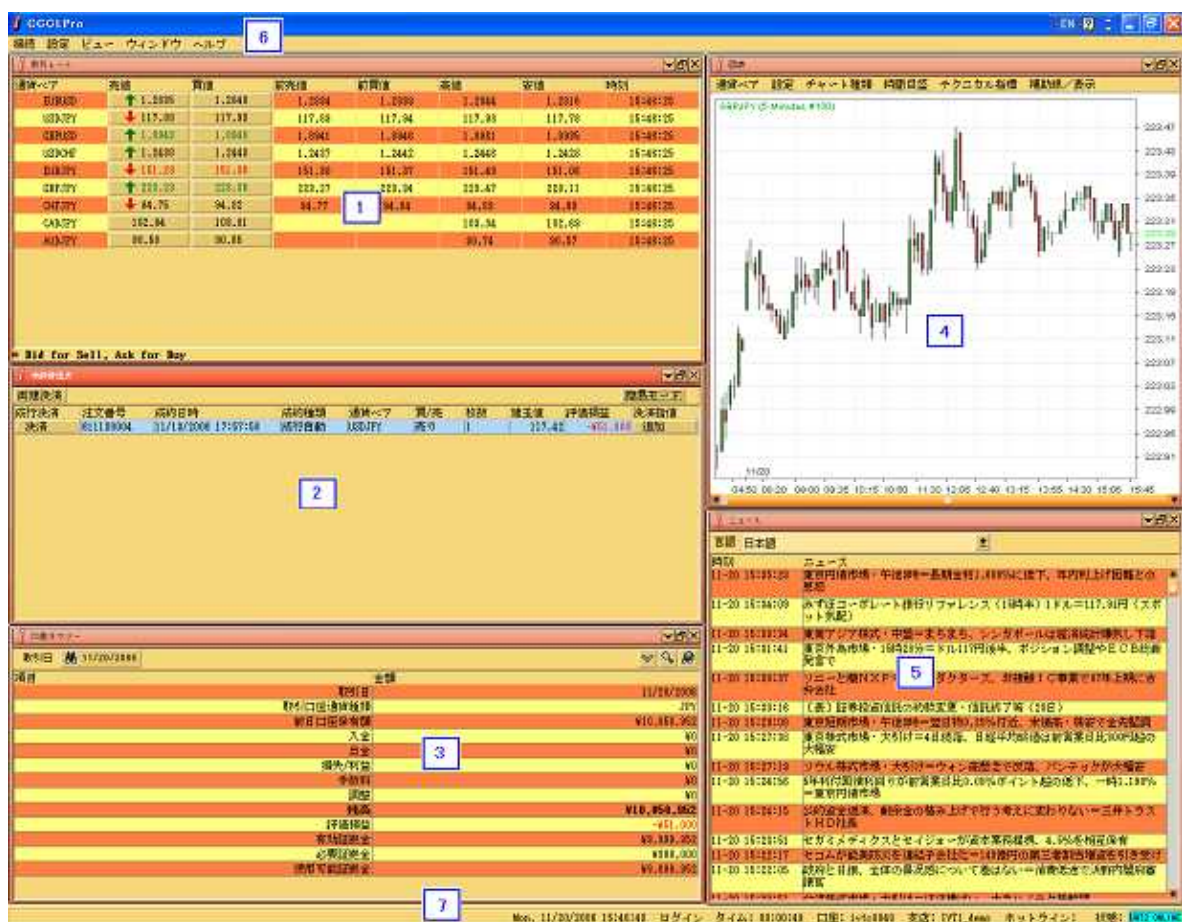


図 12

2.1. 取引レート

取引レートはデフォルトで読み込まれるはずです。もう一つの方法として、メニューバーのビュー取引レートを選ぶことにより見つけることができます。



図 13

1. メニューバーの「ビュー」のタブをクリックします。
2. 「取引レート」のタブをクリックして、リアルタイム価格ビューアを開きます。

リアルタイム価格ビューアは、異なる商品の価格情報をユーザーに自動的に提供します。価格水準の変更を強調するために赤又は青色を瞬間的に使用します。特定の通貨の市場価格が上昇した場合、背景色が青に変更になります。特定の通貨の市場価格が下落した場合、背景色が赤に変更になります。前売値 (Previous Bid)、前買値 (Previous Ask)、高値 (Highest Bid) 及び安値 (Lowest Bid) は、ユーザーの参考のためには有益な情報です。

ビューアで表示された商品の品目はすべて、システムで取引できます。ユーザーは、ビッド又はアスク価格ボックスをクリックして、成行注文を実行できます。

通貨ペア	売値	買値	前売値	前買値	高値	安値	時刻
EURUSD	↓ 1.2836	1.2841	1.2837	1.2842	1.2845	1.2816	16:39:49
USDJPY	↓ 117.90	117.95	117.91	117.96	117.98	117.78	16:39:49
GBPUSD	↓ 1.8947	1.8952	1.8948	1.8953	1.8961	1.8935	16:39:49
USDCHE	↓ 1.2432	1.2437	1.2433	1.2438	1.2446	1.2423	16:39:49
EURJPY	↓ 151.34	151.41	151.35	151.42	151.43	151.06	16:39:49
GBPJPY	↓ 223.37	223.44	223.38	223.45	223.47	223.11	16:39:49
CHFJPY	↓ 94.80	94.87	94.81	94.88	94.89	94.63	16:39:49
CADJPY	↑ 103.00	103.07	102.99	103.06	103.04	102.69	16:39:49
AUDJPY	↓ 90.59	90.66	90.60	90.67	90.74	90.51	16:39:49

図 14

1. 売り成行注文を建てるには、「売値」価格ボックスをクリックします。
2. 買い成行注文を建てるには、「買値」価格ボックスをクリックします。

通貨ペア 商品名

売値 「売」値。この価格は常に変動し、その時点における市況に従い一瞬毎に変動します。

買値 「買」値。この価格は常に変動し、その時点における市況に従い一瞬毎に変動します。

前売値 最終の一瞬 / 変更前の従前のビッド価格。

前買値 最終の一瞬 / 変更前の従前のアスク価格。
 高値 現在の取引日内で記録した高値ビッド。
 安値 現在の取引日内で記録した安値ビッド。
 時刻 ビッド又はアスクのクォーテーションに適用された最終更新時刻。

* 成行注文の詳細については、第 6 章を参照して下さい。

2.2. 未決済注文

ユーザーは、デフォルトで読み込まれた「未決済注文」パネルで未決済注文を再表示することができます。もう一つの方法として、メニューバーのビュー 未決済注文を選ぶことにより見つけることができます。

1

取引レート

アドバンスドクォート

2

通貨ペア	前売値	前買値	高値	
EURUSD	.2841	1.2837	1.2842	1.2845
USDJPY	17.95	117.91	117.96	117.98
GBPUSD	.8956	1.8950	1.8955	1.8961
USDCHE	.2438	1.2432	1.2437	1.2446
EURJPY	51.43	151.37	151.44	151.43
GBPJPY	23.48	223.43	223.50	223.47
CHFJPY	4.88	94.82	94.89	94.83
CADJPY	03.10	103.04	103.11	103.04
AUDJPY	0.64	90.58	90.65	90.74

未決済注文

本日取引履歴

決済履歴

再提示レート

ポジション・サマリー

指値注文

口座サマリー

過去取引履歴

図表

ニュース

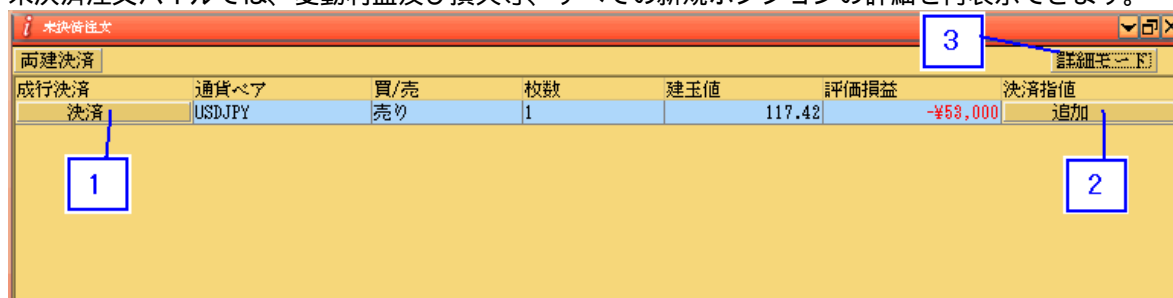
取扱い商品概要

お知らせ

図 15

1. メニューバーの「ビュー」のタブをクリックします。
2. 「未決済注文」のタブをクリックして、未決済注文を再表示します。

未決済注文パネルでは、変動利益及び損失等、すべての新規ポジションの詳細を再表示できます。



成行決済	通貨ペア	買/売	枚数	建玉値	評価損益	決済指値
決済	USDJPY	売り	1	117.42	-¥53,000	追加

図 16

1. 「決済」ボタンをクリックして、新規ポジションを決済します（成行決済の詳細については、第 7 章を参照して下さい）。
2. 特定の未決済のポジションに指値決済注文を追加するためには、「追加」のボタンをクリックします（指値決済の詳細については、第 9 章を参照して下さい）。
3. テーブル表示を詳細モードに切り替えるためには、「詳細モード」のボタンをクリックします。

通貨ペア 貴方が発注した商品

買/売 特定の商品につき、ポジションが買い注文か売り注文かを表示します。

枚数 特定の通貨ペアについて発注したロット数

建玉値 買い注文か売り注文かに拘らず、貴方が発注した時の通貨ペアの価格

評価損益 各注文の利益 / 損失。発注した注文のパラメータ次第で、この数値は変動します。

注文番号 (詳細モード) - 注文番号

成約日時 (詳細モード) 新規注文を執行した日付及び時刻

成約種類 (詳細モード) 執行した注文の種類を示します。即ち、マーケット成行自動、マーケット成行手動、当日有効指値又は週末まで有効指値です。

2.3. 口座サマリー

ユーザーは、「口座サマリー」のタブをクリックすることにより、「口座サマリー」パネルの現在のポートフォリオ及びアカウント情報を再表示することができます。

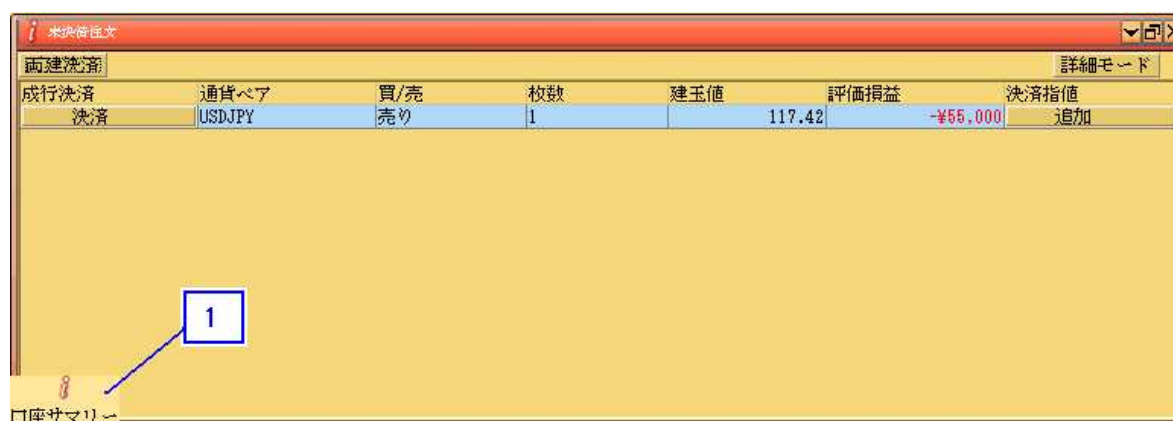


図 17

もう一つの方法として、メニューバーのビュー 口座サマリーを選ぶことにより見つけることができます。



図 18

1. メニューバーの「ビュー」のタブをクリックします。
2. 「口座サマリー」のタブをクリックして、口座サマリーパネルを開きます。



項目	金額
取引日	11/20/2006
取引口座通貨種類	JPY
前日口座保有額	¥10,050,952
入金	¥0
出金	¥0
損失/利益	¥0
手数料	¥0
調整	¥0
残高	¥10,050,952
評価損益	-¥68,000
有効証拠金	¥9,982,952
必要証拠金	¥300,000
使用可能証拠金	¥9,682,952

図 19

1. 必要であれば、「取引日」ボックスをクリックして、日暦ウィンドウをアクティブな状態にします。
2. 印刷可能なアカウント明細書を表示するためには、クリックします。

取引日 表示されるアカウント一覧の日付

取引口座通貨種類 アカountの基準通貨

前日口座保有額 従前の取引日末のアカウント残高

入金 表示の取引日にアカウントに預入した金額

出金 表示の取引日にアカウントから引き出した金額

損失 / 利益 表示の取引日の実現利益 / 損失

手数料 手数料請求額

調整 アカountの他の調整

残高 アカountの実際の金額

評価損益 未決済のポジションすべての変動利益 / 損失の合計

有効証拠金 アカountの所有権

必要証拠金 未決済のポジションすべてに必要な委託証拠金額

使用可能証拠金 取引に利用可能な委託証拠金の最高額

*アカウント明細書の詳細については、第 11.2 項を参照して下さい。

2.4. 図表

リアルタイムチャートはデフォルトで読み込まれます。もう一つの方法として、メニューバーのビュー - 図表を選ぶことにより見つけることができます。

接続 設定 ビュー ウィンドウ ヘルプ				
通貨ペア	取引レート			
	アドバンスドクォート			
	未決済注文	前売値	前買値	高値
	本日取引履歴			
	決済履歴			
	再提示レート			
	ポジション・サマリー			
	指値注文			
	口座サマリー			
	過去取引履歴			
	図表			
	ニュース			
	取扱い商品概要			
	お知らせ			

図 20

1. メニューバーの「ビュー」のタブをクリックします。
2. 「図表」のタブをクリックして、リアルタイムチャートを開きます。

リアルタイムチャートは選択した商品の価格のトレンド及び動きを表示します。水色の垂直及び水平の線は、チャート上のマウスカーソルの位置を追って表示されます。両方の線により示される対応する数値及び価格レベルは、チャートの右上に表示され、チャートの右方の Y 軸にも表示されます。チャートの上方のメニューから、商品、チャートの種類及び目盛りを選択することができます。さらに、様々なテクニカル分析及び指標をチャートに追加することができます。チャートの活用に関する詳細については、第 10 章を参照して下さい。



図 21

通貨ペア チャート上に表示されるメニューから希望の商品を単に選択します。

設定 チャート全体に適用するルックアンドフィールを選択します。

チャート種類 チャート上で使用される線の種類を選択します。

時間目盛:

Min チャートに OHLC 線又はローソク足 (チャート種類で選択) を描く時間枠を選択します。

ポイント チャートに表示する利息期間を選択します (例えば、100 ポイントは、チャート上で最後の 100 OHLC 線又はローソク足を表示します)。

テクニカル指標 チャートに適用するテクニカル分析機能を広範囲から選択します。

補助線/表示 チャートに適用する操作機能の種類を選択します。 .

水平の X 軸は時間 / 日を、垂直の Y 軸は製品の価格 / ピップスです。両軸が示す範囲は、「時間目盛」メニュー項目の下で特定された時間枠及びポイント数によって決まることに注意して下さい。

2.5. ニュース

ニュースはデフォルトで読み込まれます。もう一つの方法として、メニューバーのビュー ニュースを選ぶことにより見つけることができます。

持株 設定 ビュー ウィンドウ ヘルプ				
通貨ペア	取引レート			
	アドバンスドクォート			
	未決済注文	前売値	前買値	高値
	本日取引履歴			
	決済履歴			
	再提示レート			
	ポジション・サマリー			
	指値注文			
	口座サマリー			
	過去取引履歴			
EURUSD	図表			
USDJPY	ニュース			
GBPUSD	取扱い商品概要			
USDCHF	お知らせ			
EURJPY				
GBPJPY				
CHFJPY				
CADJPY				
AUDJPY				

図 22

ユーザーはリアルタイムニュースのパネルにリアルタイムニュースの見出しを表示することができます。

ニュース		
言語	日本語	
時刻	English	
11-20	中文繁體	
11-20	日本語	
11-20 17:48	UPDATE1: 東南アジア株式・中盤＝まちまち、シンガポールは経済統計嫌気し下落	
11-20 17:41	金利スワップ市場・20日＝5年中心に金利低下、株安で早期利上げに懐疑的な見方も	
11-20 17:41	損保26社の付随的保険金の支払い漏れ調査、完了していないのは遺憾＝金融庁長官	
11-20 17:41	新たな引き締め策を決める前に、発表される経済指標を精査する必要＝中国人民银行総裁	
11-20 17:38	配当性向、20%程度に高めるよう努力＝畔柳・三菱UFJFG社長	
11-20 17:37	第4四半期の仏GDP、前期比＋0.6-0.8%の見通し＝ブルトン財務相	
11-20 17:33	エスデー化学、発行済み株式の0.67%相当の20万株の自己株売却	
11-20 17:31	東京短期市場・最終＝米債高・株安で金先堅調、翌日物平均0.259%	
11-20 17:31	ソフトバンクモバイルの長期優先債券を格上げ方向に変更＝S&P	
11-20 17:30	UPDATE1: ソニーと蘭NXPが非接触IC事業で合併設立、複数規格	

図 23

1. 「言語」ボタンをクリックして、新しい言語を選択します。

時刻 ニュースの日付と時刻

ニュース 実際のニュースの見出し

ユーザーは、ニュースパネルのニュースの見出しをダブルクリックすることにより、リアルタイムニュースの詳細を取り出すことができます。

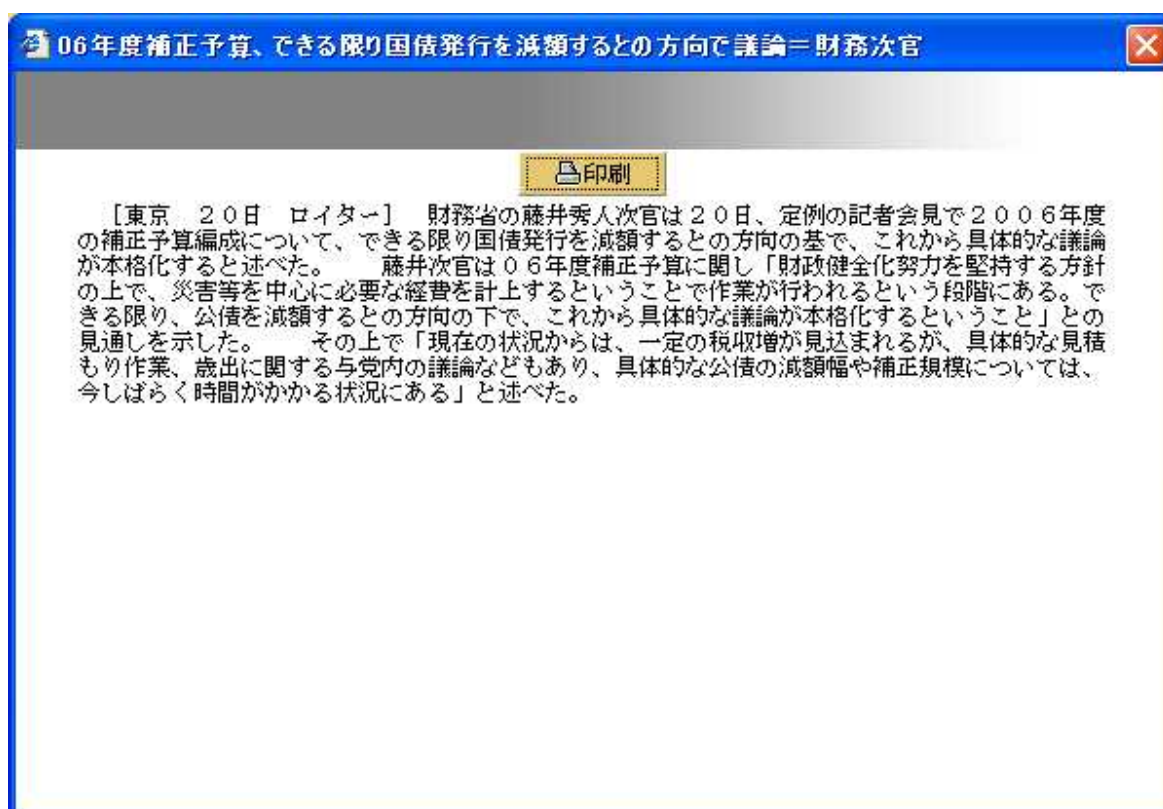


図 24

2.6. メニューバー

メニューバーは下記の5つの機能を提供します。:

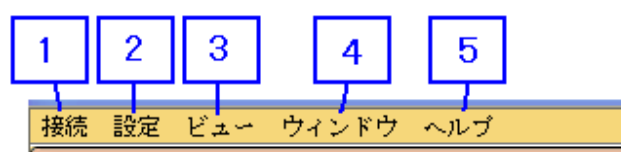


図 25

1. ユーザーは、メニューバーの「接続」メニュー項目からログイン又はログアウトできます。
2. ユーザーは、「設定」メニュー項目の下の設定、外観、レイアウト、確認設定、応答メッセージ設定及びパスワードを変更できます。
3. ユーザーは、「ビュー」メニュー項目から情報パネルを選択できます。
4. ユーザーは、ある操作機能を「ウィンドウ」メニュー項目から開いた情報パネルのすべてに適用できます。
5. ユーザーは、「ヘルプ」メニュー項目から ETX システムのバージョンを再表示することができます。

2.7. ステータスバー

ステータスバーは、1) 現在時刻、2) ログイン継続時間、3) アカウント番号、4) 会社名、5) サポートホットライン、6) 接続インジケータ（緑色はアプレットと当社サーバーとの通常の接続を示し、赤色はアプレットと当社サーバーとの接続が失敗したことを示します）。



図 26

2.8. 指値注文

2.8.1. 新規指値

ユーザーは、メニューバーの「指値注文」タブをクリックすることにより、新規指値注文を再表示することができます。有効な新規指値伝票すべての詳細がこのパネルに表示されます。新規指値注文の詳細については、第8章を参照して下さい。



図 27

1. メニューバーの「ビュー」のタブをクリックします。
2. 「指値注文」タブをクリックして、新規指値パネルを開きます。



図 28

1. 新規指値注文を表示するためには、「新規指値」ボタンをクリックします。
2. 新規指値注文を追加するためには、「追加」ボタンをクリックします。
3. 新規指値注文を修正するためには、「修正」ボタンをクリックします。
4. 新規指値注文を取り消すためには、「取消」ボタンをクリックします。
5. テーブル表示を詳細モードに切り替えるためには、「詳細モード」ボタンをクリックします。

修正 既存の新規指値注文を修正するためには、このボタンをクリックします。

通貨ペア 新規指値注文の商品

買/売 既存の新規指値注文が買い注文か売り注文であったかを表示します。

枚数 新規指値注文のロット数の合計

指値 特定の新規指値注文のリミット執行価格

逆指値 特定の新規指値注文のストップ執行価格

種類 新規指値注文の種類（1日 / 週末）

状態 【新規】指値注文の状態

取消 既存の新規指値注文を取り消すためには、このボタンをクリックします。

2.8.2. 新規指値注文履歴

ユーザーは、メニューバーの「新規指値」タブをクリックすることにより、新規指値注文履歴を再表示することができます。一週間の新規指値注文の詳細が表示されます。

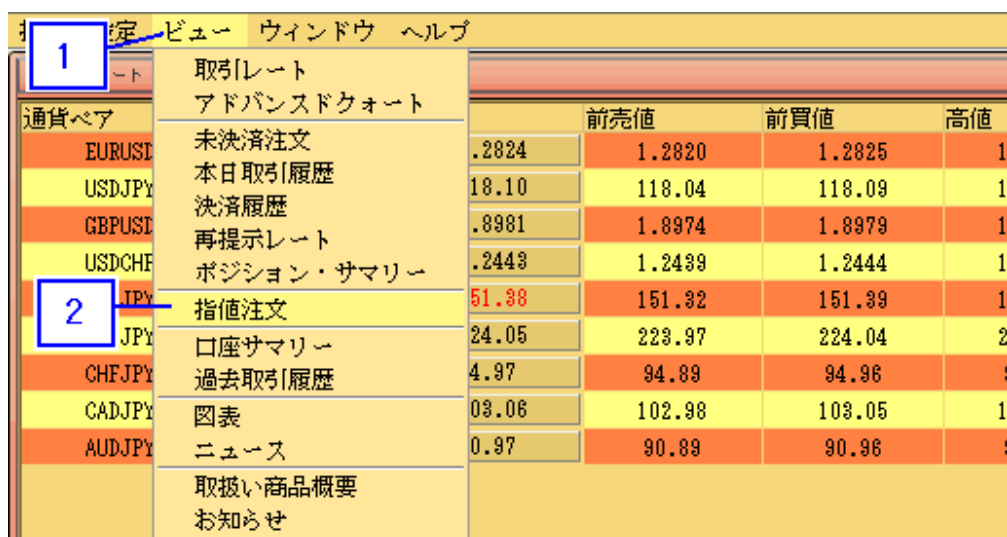


図 29

1. メニューバーの「ビュー」タブをクリックします。
2. 「指値注文」タブをクリックして、新規指値注文履歴を開きます。



図 30

1. 新規指値の記録を再表示するためには、「新規指値注文履歴」ボタンをクリックします。
2. 一週間の新規指値の記録を取り出すためには、週の初日を選択する「から」ボタンをクリックします。
3. 一週間の新規指値の記録を取り出すためには、週の末日を選択する「まで」ボタンをクリックします。
4. 新規指値伝票の最終変更日又は作成日
5. *新規指値伝票の変更日
6. *新規指値伝票の作成日

伝票番号 新規指値注文の伝票番号
 注文日時/最終修正 新規指値注文の最終変更注文作成日
 成約日時 【新規】指値注文の執行日
 通貨ペア 新規指値注文の商品
 買/売 新規指値注文が買い注文か売り注文であるか（であったか）を表示します。
 枚数 新規指値注文のロット数の合計
 指値 特定の指値注文のリミット執行価格
 逆指値 特定の指値注文のストップ執行価格
 種類 新規指値注文の種類（1日 / 週末）

状態 新規指値注文の状態

* ステップ4 及びステップ5【訳注：4、5は各々、5、6の間違いと思われます】は、ユーザーが新規指値注文伝票を修正した場合にのみ表示されます。

2.8.3. 決済指値

ユーザーは、メニューバーの「ビュー」の下にある「指値注文」タブをクリックすることにより、決済指値注文を再表示することができます。有効な決済指値伝票の詳細がこのパネルに表示されます。決済指値注文の詳細については、第9章を参照して下さい。



図 31

1. メニューバーの「ビュー」タブをクリックします。
2. 「指値注文」タブをクリックして、決済指値ウィンドウを開きます。



図 32

1. 決済指値注文を表示するためには、「決済指値」ボタンをクリックします。
2. 決済指値注文を追加するためには、「追加」ボタンをクリックします。
3. 決済指値注文を修正するためには、「修正」ボタンをクリックします。
4. 決済指値注文を取り消すためには、「取消」ボタンをクリックします。
5. テーブル表示を詳細モードに切り替えるためには、「詳細モード」ボタンをクリックします。

修正 既存の決済指値注文を修正するためには、このボタンをクリックします。

通貨ペア 指値決済注文の商品

買/売 既存の決済指値注文が買い注文か売り注文であったかを表示します

枚数 決済指値注文のロット数の合計
 指値 特定の指値決済注文のリミット執行価格
 逆指値 特定の新規指値注文のストップ執行価格
 決済対象 対応する建てたポジションの情報
 状態 決済指値注文の状態
 取消 既存の決済指値注文を取り消すためには、このボタンをクリックします。

2.8.4. 決済指値注文履歴

ユーザーは、メニューバーの「指値注文」タブをクリックすることにより、決済指値注文履歴を再表示できます。一週間の指値決済注文の詳細が表示されます。



図 33

1. メニューバーの「ビュー」タブをクリックします。
2. 「指値注文」タブをクリックして、決済指値注文履歴ウィンドウを開きます。



図 34

1. 決済指値の記録を表示するためには、「新規指値注文履歴」ボタンをクリックします。
2. 一週間の決済指値の記録を取り出すためには、週の初日を選択する「から」ボタンをクリックします。
3. 一週間の決済指値の記録を取り出すためには、週の末日を選択する「まで」ボタンをクリックします。
4. 決済指値伝票の最終修正日又は作成日
5. *決済指値伝票の修正日
6. *決済指値伝票の作成日

伝票番号. 決済指値注文の伝票番号

注文日時/最終修正 決済指値注文の最終変更注文作成日

成約日時 指値【決済】注文の執行日

通貨ペア 決済指値注文の商品

買/売 決済指値注文が買い注文か売り注文であるか(であったか)を表示します。

枚数 決済指値注文のロット数の合計

指値 特定の決済指値注文のリミット執行価格

逆指値 特定の決済指値注文のストップ執行価格

決済対象 決済指値注文に適用する建てた特定の成行注文に関する情報を表示します。

状態 新規指値注文の状態

* ステップ4 及びステップ5【訳注：4、5は各々、5、6の間違いと思われます】は、ユーザーが指値決済注文伝票を修正した場合にのみ表示されます。

2.9. 取引履歴

2.9.1. 本日取引履歴

ユーザーは、「本日取引履歴」パネルで1日の取引履歴を再表示することができます。この「本日取引履歴」パネルは、メニューバーのビュー 本日取引履歴を選択することにより見つけることができます。現在の取引日に建てた又は決済したポジションがこのパネルに表示されます。



設定 ビュー ウィンドウ ヘルプ				
メニューバー				
通貨ペア				
EURUSD	未決済注文	1.2817	1.2822	1.2817
USDJPY	本日取引履歴	118.08	118.13	118.08
GBPUSD	決済履歴	1.8978	1.8972	1.8977
USDCHF	再提示レート	1.2444	1.2440	1.2445
EURJPY	ポジション・サマリー	51.40	151.32	151.39
GBPJPY	指値注文	24.06	223.97	224.04
CHFJPY	口座サマリー	4.98	94.90	94.97
CADJPY	過去取引履歴	103.11	103.03	103.10
AUDJPY	図表	0.97	90.91	90.98
ニュース				
取扱い商品概要				
お知らせ				

図 35

1. メニューバーの「ビュー」タブをクリックします。
2. 「本日取引履歴」タブをクリックして、1日の取引履歴を再表示します。



成約日時	通貨ペア	買/売	枚数	成約値	決済対象	種類	状態
11/21/2008 11:49:25	EURUSD	売り	1	1.2820	該当なし	新規	未決済
11/21/2008 11:49:41	EURJPY	売り	2	151.92	該当なし	新規	未決済

図 36

1. テーブル表示を詳細モードに切り替えるためには、「詳細モード」のボタンをクリックします。

2.9.2. 過去取引履歴

ユーザーは、「過去取引履歴」パネルで取引履歴を再表示することができます。この「過去取引履歴」パネルは、メニューバーのビュー 過去取引履歴を選択することにより見つけることができます。選択した期間中の買い注文及び売り注文の履歴がこのパネルに表示されます。



通貨ペア	取引レート	前売値	前買値	高値
EURUSD	未決済注文	.2822	1.2816	1.2821
USDJPY	本日取引履歴	18.12	118.08	118.13
GBPUSD	決済履歴	.8980	1.8974	1.8979
USDCHE	再提示レート	.2448	1.2442	1.2447
EURJPY	ポジション・サマリー	51.99	151.91	151.98
GBPJPY	指値注文	24.1	224.00	224.07
CHFJPY	口座サマリー	4.96	94.90	94.97
CADJPY	過去取引履歴	03.11	103.03	103.10
AUDJPY	図表	0.98	90.90	90.97
	ニュース			
	取扱い商品概要			
	お知らせ			

図 37

1. メニューバーの「ビュー」タブをクリックします。
2. 「過去取引履歴」タブをクリックして、取引履歴を再表示します。

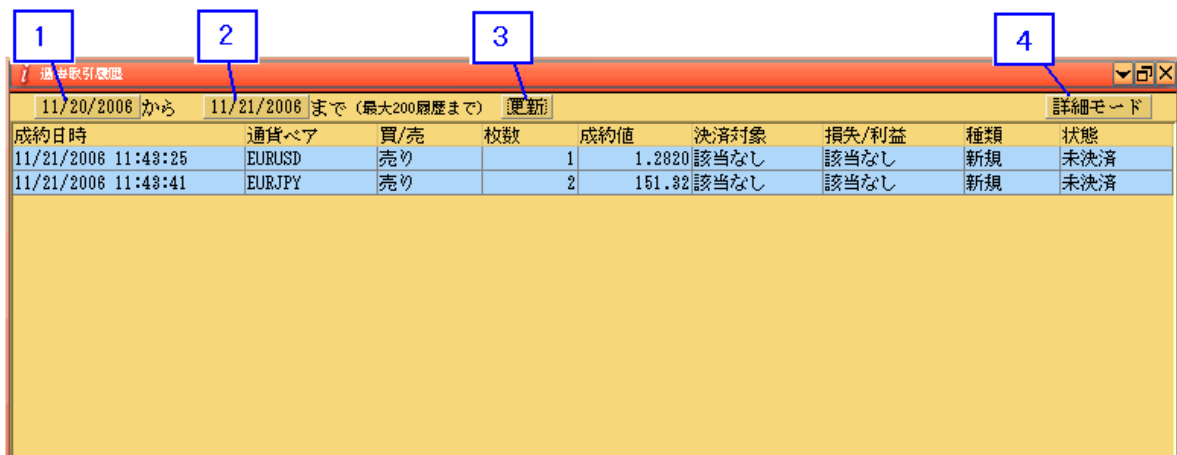


図 38

1. 関心のある期間の初日を選択するためには、「から」ボタンをクリックします。
2. 関心のある期間の末日を選択するためには、「まで」ボタンをクリックします。
3. 取引記録を表示するためには、「から」及び「まで」を選択した後、「更新」ボタンをクリックします。
4. テーブル表示を詳細モードに切り替えるためには、「詳細モード」のボタンをクリックします。

成約日時 取引の日付及び時刻

貨幣ペア 貴方が発注した商品

買/売 注文が特定の通貨ペアの買い注文か売り注文であったかを表示します。

枚数 特定の通貨ペアについて注文したロット数の合計

成約値 取引の執行価格

決済対象 手仕舞いしたポジションについては、対応する建てたポジションの情報を示します。

損失/利益 各注文の変動利益/損失。この数値は常に変動しており、発注した注文のパラメータ次第で変動します。

種類 取引が新規注文か決済注文であるかを示します。

状態 取引の状態

注文番号 (詳細モード) 注文番号

伝票番号 (詳細モード) 対応する記録の伝票番号

成約日時 (詳細モード) 注文を作成した日付及び時刻

成約種類 (詳細モード) 注文を執行する種類

2.10. 決済履歴

ユーザーは、メニューバーのビュー 決済履歴を選択することにより「決済履歴」パネルの1日の決済を再表示することができます。

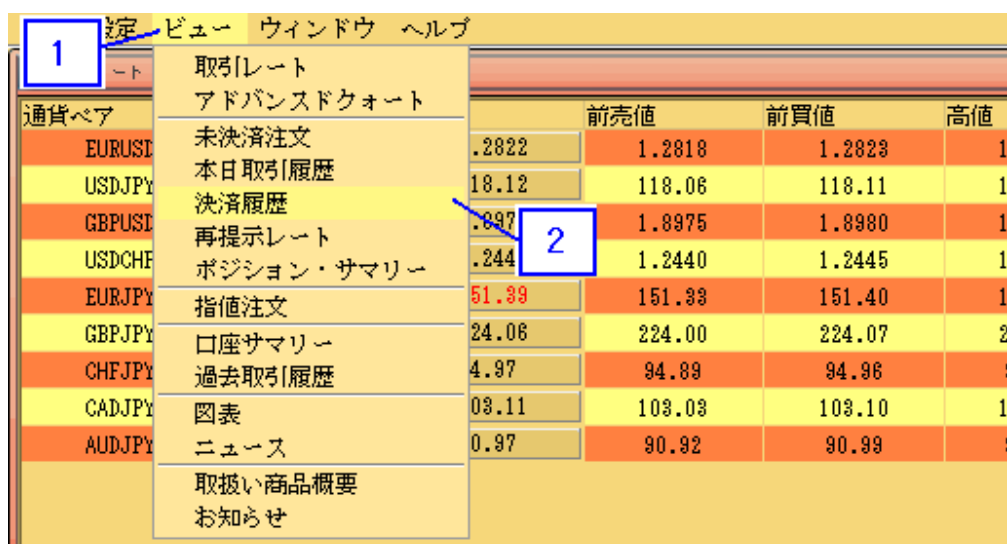


図 39

1. メニューバーの「ビュー」タブをクリックします。
2. 「決済履歴」タブをクリックして、1日の決済履歴を再表示します。

決済日時	通貨ペア	買/売	枚数	仕切値	建玉日時	建玉値	損失/利益
11/21/2006	GBPUSD	売り	1	1.8974	11/21/2006	1.8979	-¥5,902
11/21/2006	GBPJPY	買い	1	224.10	11/21/2006	224.03	-¥7,000

図 40

決済日時 決済日

通貨ペア 決済した商品の名称

買/売 決済注文が買い注文か売り注文であることを表示します。

枚数 特定の注文について決済したロット数の合計

仕切値 Closed Position に使用した価格

建玉日時 対応するポジションを建てた日

建玉値 対応するポジションの始値

損失/利益 実現利益又は損失の金額

2.11. お知らせ

発表パネルは最近のシステムのニュース又はお知らせを表示し、メニューバーのビュー お知らせを選択することにより表示できます。

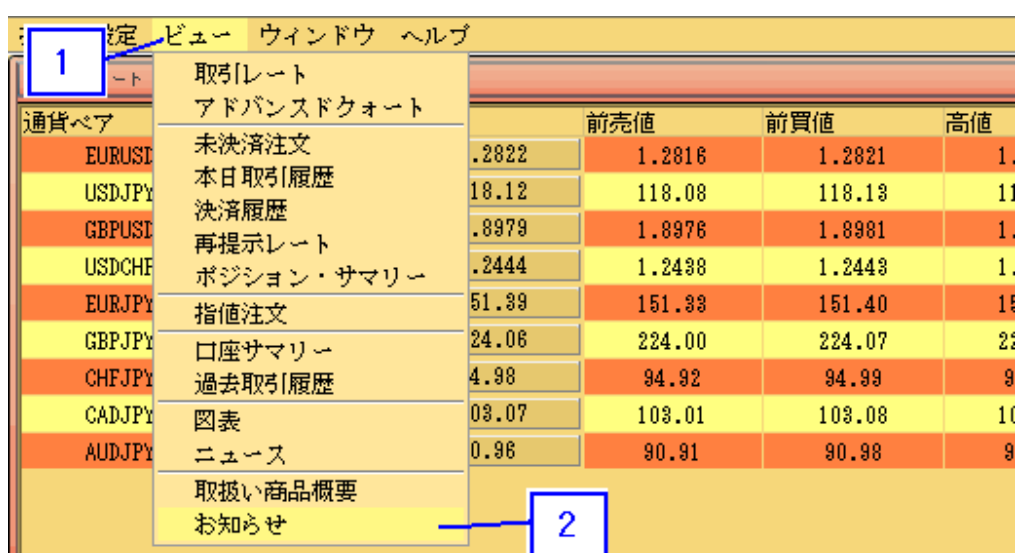


図 41

1. メニューバーの「ビュー」タブをクリックします。
2. 「お知らせ」タブをクリックして、お知らせパネルを開きます。



図 42

2.12. ポジションサマリー

未決済ポジションすべての一覧がこのパネルに表示されます。このパネルはメニューバーのビュー
ポジションサマリーを選択することにより見つけることができます。

図 43

1. メニューバーの「ビュー」タブをクリックします。
2. 「ポジションサマリー」タブをクリックして、ポジションサマリーパネルを開きます。

通貨ペア	買/売	枚数	平均建玉値	評価損益
EURJPY	売り	2	151.32	-¥18,000
EURUSD	売り	1	1.2820	-¥3,541
USDJPY	売り	1	117.42	-¥71,000

図 44

通貨ペア Open Positions に建てた商品

買/売 特定の注文が買い注文か売り注文であることを表示します。

枚数 特定の商品に関する未決済ロット数の合計

平均建玉値 全注文の平均執行価格

評価損益 - 同一商品の注文すべての変動利益 / 損失の合計

2.13. 取扱い商品概要

全商品の金利スワップは取扱い商品概要パネルに列挙されています。メニューバーのビュー 取扱い
商品概要を選択することによりこのパネルを開くことができます

通貨ペア	取引レート	前売値	前買値	高値
EURUSD	未決済注文	.2822	1.2818	1.2823
USDJPY	本日取引履歴	18.13	118.07	118.12
GBPUSD	決済履歴	.8979	1.8975	1.8980
USDCHE	再提示レート	.2442	1.2436	1.2441
EURJPY	ポジション・サマリー	51.40	151.34	151.41
GBPJPY	指値注文	24.09	224.01	224.08
CHFJPY	口座サマリー	5.00	94.91	94.98
CADJPY	過去取引履歴	03.08	103.00	103.07
AUDJPY	図表	0.97	90.89	90.96
	ニュース			
	取扱い商品概要			
	お知らせ			

図 45

1. メニューバーの「ビュー」タブをクリックします。

2. 「取扱い商品概要」タブをクリックして、取扱い商品概要パネルを開きます。

適用日	通貨ペア	取引単位	買いスワップ	売りスワップ	スワップ種類
11/14	AUDJPY	100000	5.3750%	-8.3750%	スワップ
11/14/2006	CADJPY	100000	3.3750%	-4.3750%	スワップ
11/14/2006	CHFJPY	100000	1.3750%	-2.3750%	スワップ
11/14/2006	EURJPY	100000	2.3750%	-3.3750%	スワップ
11/14/2006	EURUSD	100000	-2.5000%	1.5000%	スワップ
11/14/2006	GBPJPY	100000	4.1250%	-5.1250%	スワップ
11/14/2006	GBPUSD	100000	-0.7500%	-0.2500%	スワップ
11/14/2006	USDCHF	100000	2.5000%	-3.5000%	スワップ
11/14/2006	USDJPY	100000	4.3750%	-5.3750%	スワップ

図 46

1. 日付を選択するためには、「サーバー取引日」ボタンをクリックします。
2. 選択した日付に適用する金利を表示するためには、「更新」ボタンをクリックします。

適用日付 適用する表示利息の日付

通貨ペア 適用する表示利息の商品

取引単位 1 ロットのサイズ

買いスワップ 特定の商品の買い注文に適用する利息

売りスワップ 特定の商品の売り注文に適用する利息

スワップ種類 スワップ利率が金利か否か

第3章 システム設定

外観、応答形式及びパスワード等、ユーザー側のシステム設定はすべて、メニューバーの「設定」及び「ウインドウ」メニュー項目の下から見つけることができます。

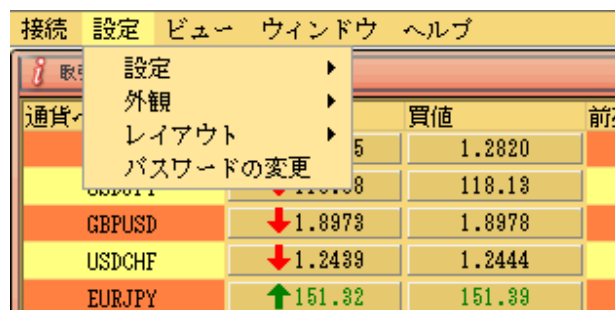


図 47



図 48

3.1. 設定

3.1.1. 取扱い商品設定

商品構成はユーザーの好みにより管理することができます。こうした機能により、ユーザーはパネル（リアルタイム価格ビューア）に表示される情報を定めることができます。



図 49

1. 上記に示す通り、メニューバーの設定をクリックし、その後、設定 取引レート 取扱い商品設定を選択します。

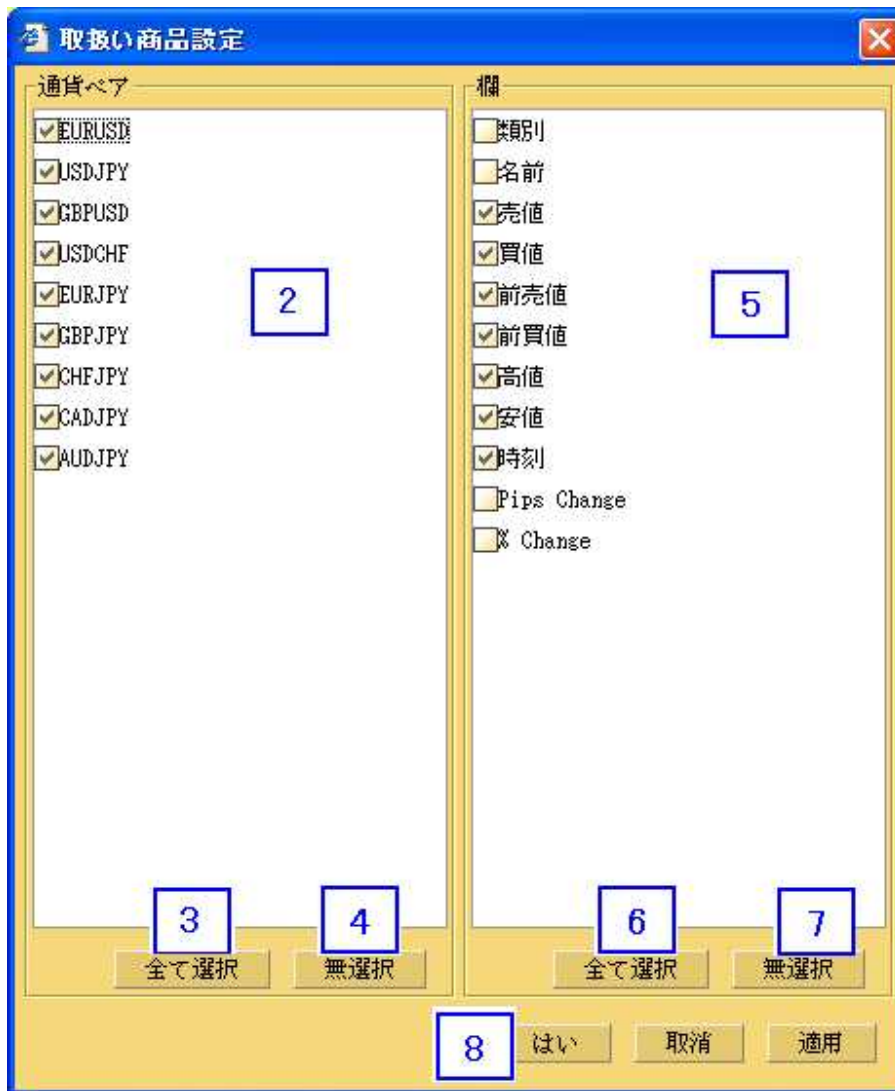


図 50

2. ユーザーは、表示させたいと思う製品にチェックマークを付けることができます。
3. 表示の通貨のすべてを選択するためには、「全て選択」をクリックします。
4. 表示の通貨のすべてを選択しないためには、「無選択」をクリックします。
5. ユーザーは、表示させたいと思うコラムにチェックマークを付けることができます。
6. 入手できる情報コラムのすべてを選択するためには、「全て選択」をクリックします。
7. 入手できる情報コラムのすべてを選択しないためには、「無選択」をクリックします。
8. 「はい」をクリックして、完了し、退出します。

もう一つの方法として、下記の図に示す通り、取引レートパネルでマウスを右クリックして、この設定機能にアクセスすることもできます。

接続 設定 ビュー ウィンドウ ヘルプ					
取引レート					
通貨ペア	売値	買値	前売値	前買値	高値
EURUSD	↓1.2815	1.2820	1.2816	1.2821	1.283
USDJPY	↓118.08	118.13	118.09	118.14	118.0
GBPUSD	↓1.8972	1.8977	1.8973	1.8978	1.899
USDCHF	↑1.2441	1.2446	1.2440	1.2445	1.244
EURJPY	↓151.30	151.37	151.32	151.39	151.3
GBPJPY	↓223.99	224.06	224.01	224.02	224.0
CHFJPY	↑94.91	94.98	94.90	94.93	94.94
CADJPY	↓103.02	103.09	103.03	103.04	103.0
AUDJPY	↓90.89	90.96	90.90	90.97	90.97

図 51

3.1.2. 設定

ユーザーは、システムに設定ポップアップ通知を表示させたいか否かを選択できます。さらに、この機能により、受け取りたいと思うシステム応答メッセージを選択することができます。

接続 設定 ビュー ウィンドウ ヘルプ					
取引レート	設定	取引レート		取扱い商品設定	
	外観	買値		設定	
通貨ペア	レイアウト	0	1.2815	1.2816	1.
パスワードの変更					
GBPUSD	↓1.8964	1.8969	1.8965	1.8970	1.
USDCHF	↑1.2444	1.2449	1.2443	1.2448	1.
EURJPY	↓151.31	151.38	151.32	151.39	15
GBPJPY	↓223.99	224.06	224.01	224.08	22
CHFJPY	↓94.91	94.98	94.92	94.99	94
CADJPY	↑103.00	103.07	102.99	103.06	10

図 52

1. 上記に示す通り、メニューバーの設定をクリックし、その後、設定 取引レート 設定を選択します。

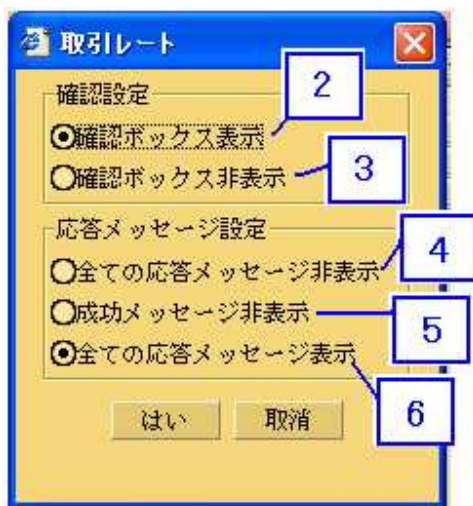


図 53

2. ユーザーが「確認ボックス表示」を選択した場合、システムで変更するか、又は実行する時に、下記に示すような再確認のダイアログボックスが表示されます。



図 54

3. ユーザーが「確認ボックス非表示」を選択した場合、ポップアップダイアログボックスは表示されません。
4. システム応答メッセージをすべて制限するためには、「全ての応答メッセージ非表示」を選択します。
5. 成功システム応答メッセージをすべて制限するためには、「成功メッセージ」を選択します。
6. システム応答メッセージをすべて表示するためには、「全ての応答メッセージ表示」を選択します。

3.1.3. フォント

取引レートに表示されるコンテンツのフォントスタイル及びサイズは、「Font」項目の下で変更できます。



図 55

1. 上記に示す通り、メニューバーの設定をクリックし、設定 取引レート フォントを選択します。

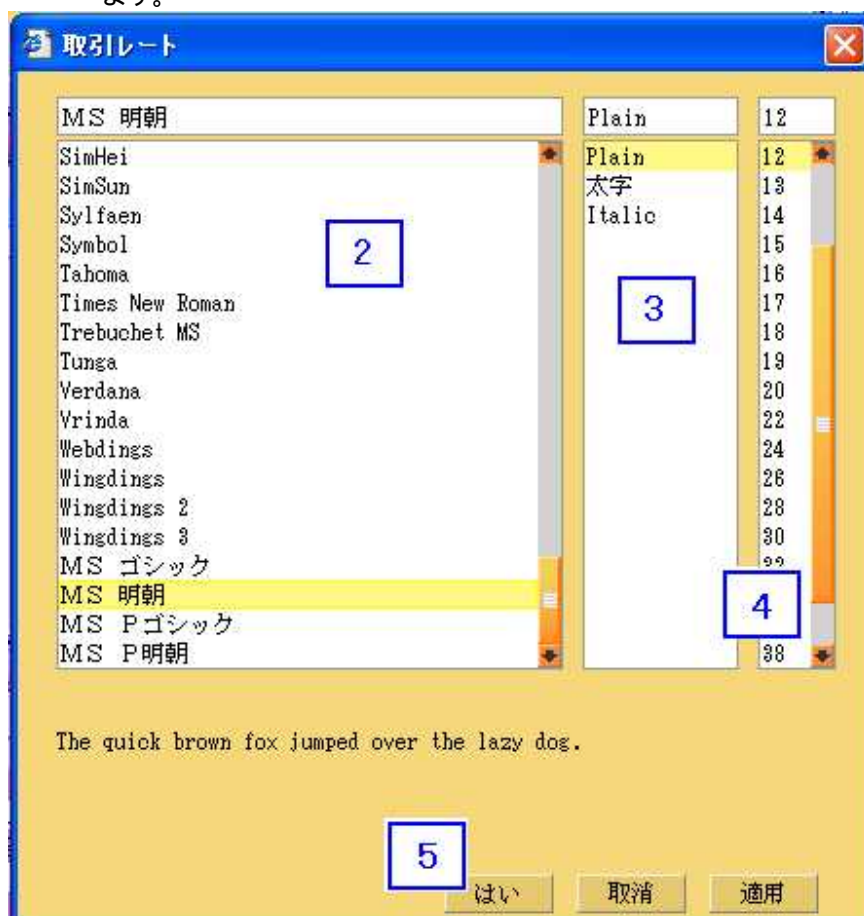


図 56

2. ユーザーは、表示される語句のラテン語のテキストフォントを選択できます。
3. ユーザーは、表示される語句のフォントスタイルを選択できます。
4. ユーザーは、表示される語句のフォントサイズを選択できます。
5. 「はい」をクリックして、完了し、退出します。

3.1.4. 外観



図 57

3.1.5. レイアウト

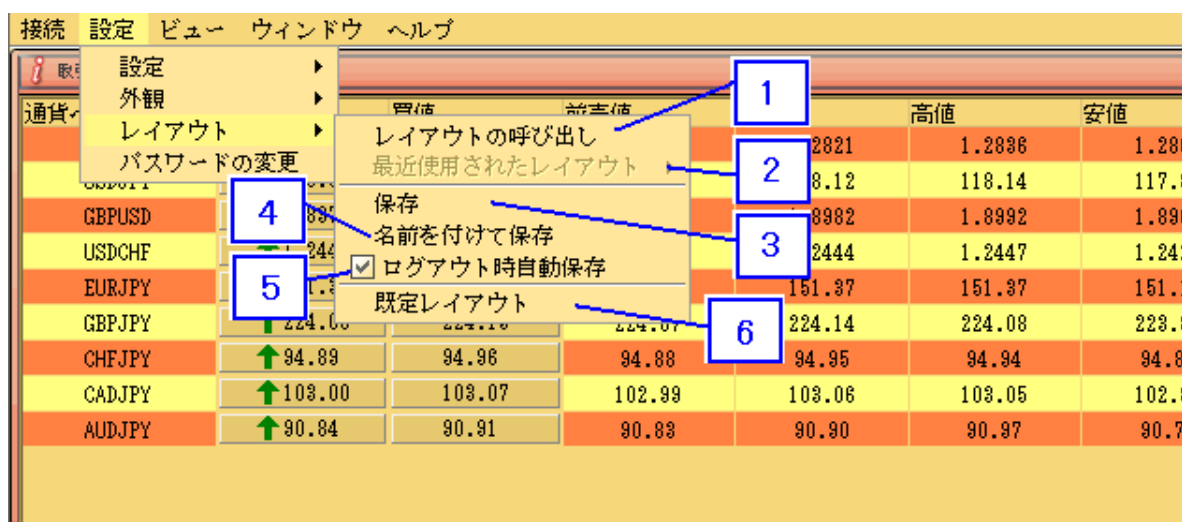


図 58

1. ユーザーは、保存したレイアウトを開くことができます。
2. ユーザーは、最近のレイアウトを開くことができます。
3. ユーザーは、現在のレイアウトを保存することができます。
4. ユーザーは、異なるファイル名で現在のレイアウトを保存することができます。
5. 退出する際に、レイアウトを自動的に保存することを選択します。
6. ユーザーは、デフォルトのシステムレイアウトを読み込むことができます。

「レイアウトの呼び出し」と「保存」は、同一のデフォルトファイルで動作します。しかし、ユーザーは下記に示す通り、「名前を付けて保存」機能を用いて 1 以上の好みのレイアウト設定を保存することもできます。

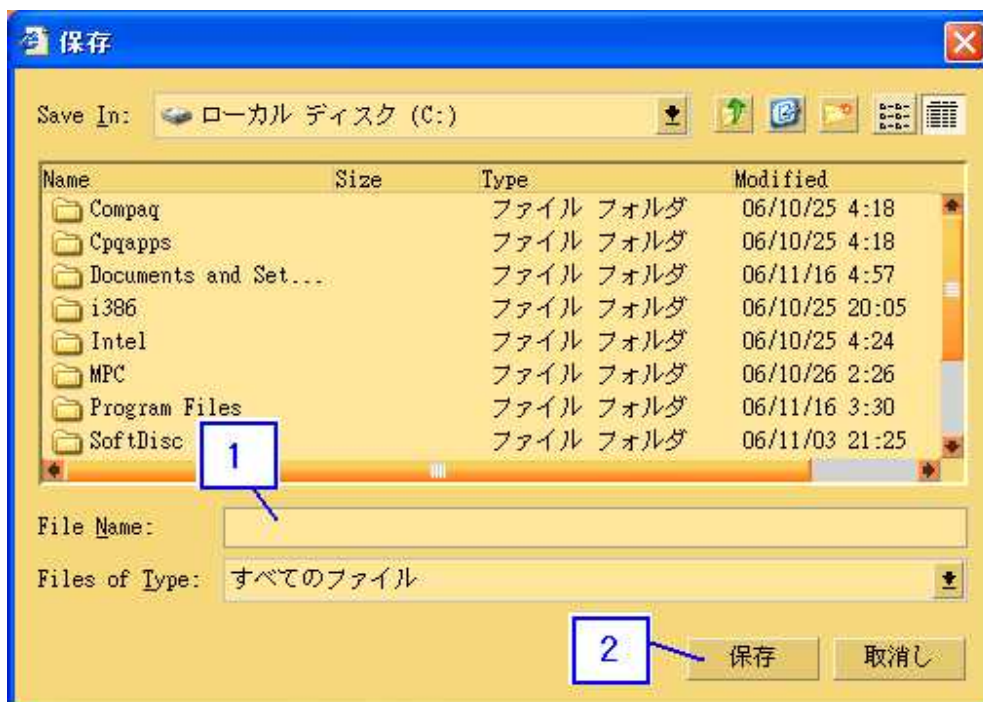


図 59

1. 保存するレイアウト設定のファイル名をタイプします。
2. 「保存」をクリックして、ファイルを保存します。

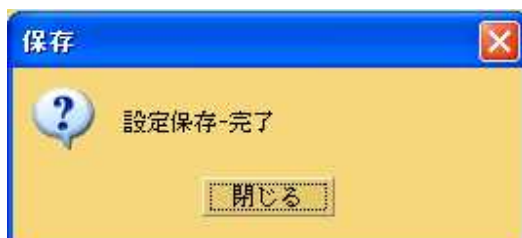


図 60

3. レイアウト保存が成功した（「設定保存完了」）というメッセージダイアログボックスを閉じるためには、「閉じる」ボタンをクリックします。

保存したレイアウト設定を読み戻すためには、下記に示す通り、「レイアウトの呼び出し」機能を使います。

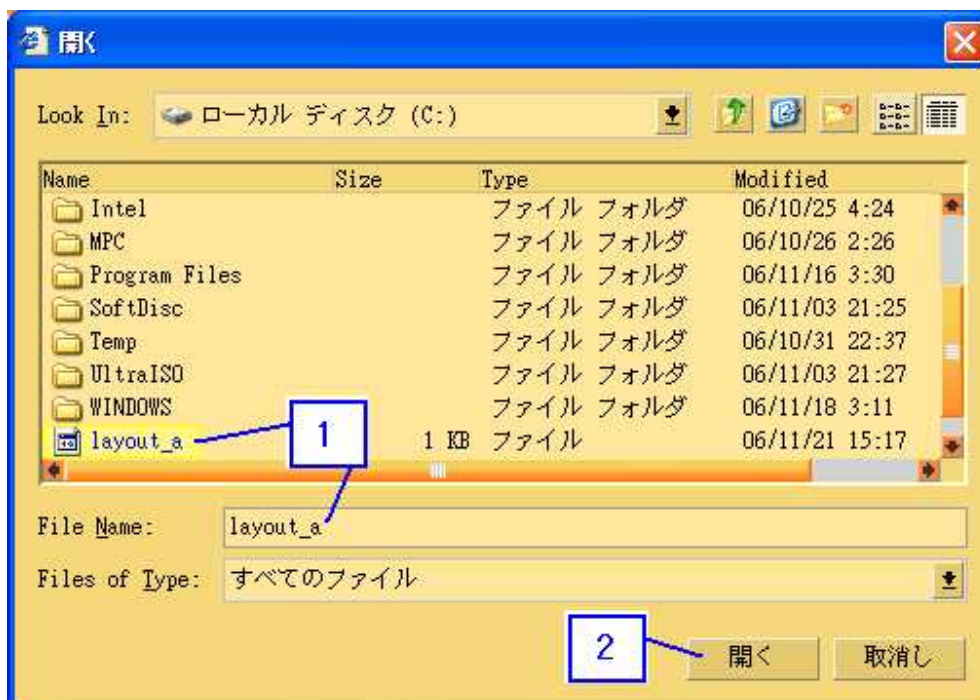


図 61

1. 保存したファイルを特定し、クリックし、又はファイル名をタイプします。
2. 「開く」ボタンをクリックして、保存したレイアウトを読み込みます。

3.1.6. パスワードの変更



図 62

* 詳細については、第 11 章を参照して下さい。

3.2. ウィンドウズ

メニューバーの「ウインドウズ」項目は、開いた情報パネルに適用される操作方法を定めます。ユーザーはこの機能を利用して、パネルを様々な方法で表示できます。

3.2.1. 移動



図 63

1. パネルに直接行くためには「移動」を選択し、開いたパネルリストから選択します。

3.2.2. 並べて表示

図 64

1. ユーザーは、並列表示で開いた情報パネルのすべてについて、この機能を選択できます。

3.2.3. 重ねて表示

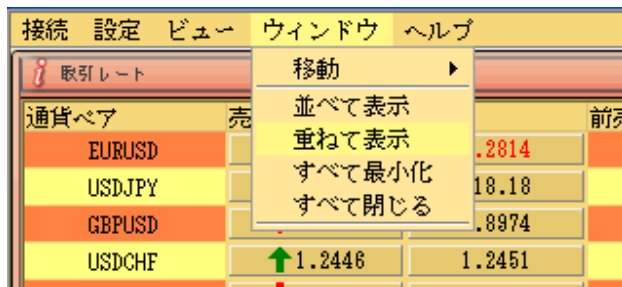


図 65

1. ユーザーは、下記に示す通り、この機能を使用して、開いたパネルすべての配列を再構成できます。

通貨ペア	売値	買値	前売値	前買値	高値	安値	時刻
EURUSD	1.2812	1.2819	1.2811	1.2818	1.2828	1.2809	15:00:28
USDJPY	118.12	118.17	118.13	118.18	118.14	117.87	15:00:29
GBPUSD	1.8988	1.8974	1.8981	1.8975	1.8982	1.8963	15:00:28
USDCHF	1.2444	1.2449	1.2446	1.2458	1.2447	1.2426	15:00:29
EURJPY	151.33	151.40	151.32	151.38	151.37	151.19	15:00:29
GBPJPY	224.05	224.12	224.06	224.13	224.03	223.82	15:00:29
CHFJPY	94.88	94.95	94.80	94.87	94.84	94.67	15:00:29
CADJPY	102.00	102.07	102.01	102.08	102.05	102.89	15:00:29
AUDJPY	80.84	80.91	80.85	80.82	80.97	80.74	15:00:29

図 66

3.2.4. すべて最小化



図 67

1. ユーザーは、下記に示す通り、この機能を使用して、開いたパネルのすべてを最小化できます。



図 68

3.2.5. すべて閉じる

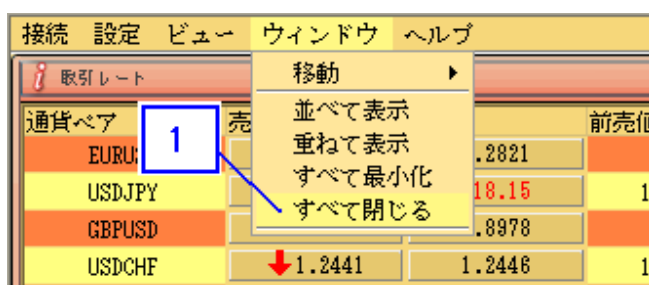


図 69

1. ユーザーは、この機能を使用して、開いた情報パネルのすべてを閉じることができます。

第4章 ログイン

Itrading システムへのログインが初回の場合、第 4.1 項に示す通り、アプレット認証を信頼するために「常に」をクリックして下さい

システムを読み込むと、ログインページが現われます。ユーザーは、当社にアカウントを開設した後、有効なログイン ID とパスワードが提供されます。当社にアカウントを開設する方法に関する詳細については、当社のカスタマーサービス係員に連絡して下さい。



図 70

1. ログイン ID とパスワードを入力します。
2. ドロップダウンメニューをクリックして、システム言語を選択します。
3. 「ログイン」ボタンをクリックします。

* 下記ステップ 5 からステップ 14 は、初回ログインにのみ必要です。

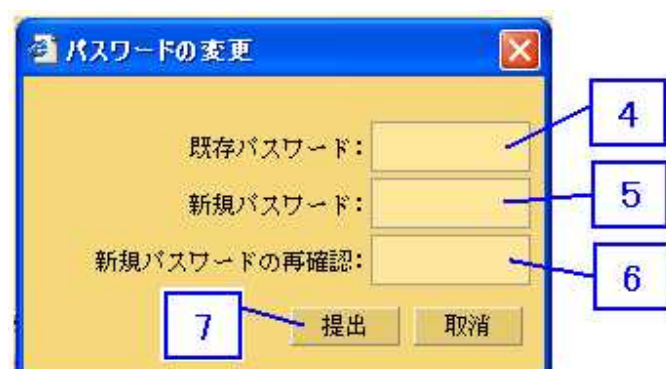


図 71

4. 現在のパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを入力します。
6. 新しいパスワードを確認します。
7. 操作を続けるためには、「提出」ボタンをクリックします。

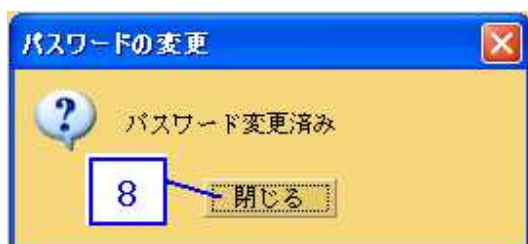


図 72

8. 「閉じる」をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

ユーザーが Web ブラウザ又はソフトウェアアプリケーション (ETX Pro の Web バージョンとダウンロードバージョンの何れを使用するかによります) を閉じる代わりに、メニューバーの「接続」の下にある「ログアウト」ボタンによりシステムを終了した場合 (ログアウト操作の詳細については、第 4.2 項を参照して下さい)、システムは、フロント画面に戻ります。ユーザーは、同じ「接続」メニューの「ログイン」をクリックすることにより、再度ログインできます。

接続 設定 ビュー ウィンドウ ヘルプ				
ログアウト				
通貨ペア	売値	買値	前	
EURUSD	↓ 1.2817	1.2822		
USDJPY	↑ 118.14	118.19		
GBPUSD	↑ 1.8972	1.8977		
USDCHF	↑ 1.2439	1.2444		

図 73

4.1. アプレット認証

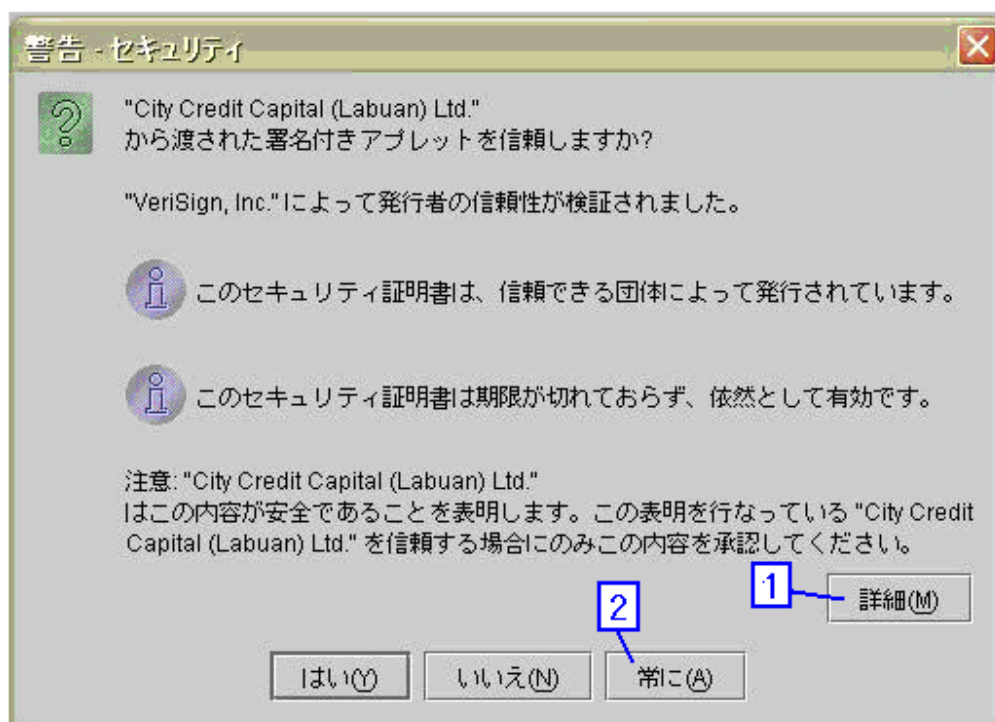


図 74

1. 証明書の詳細を表示するためには、「詳細」をクリックします。
2. 「City Credit Capital (Labuan) Limited」を信頼して表明を永久にするためには、「常に」をクリックします。

4.2. ログアウト

アカウントの安全性を高めるためには、ユーザーは、常に下記の方法のひとつを正しく使用してログアウトすべきです。



図 75

1. ユーザーは、メニューバーの「接続」をクリックし、その後、「ログアウト」を選択することにより、ログアウトできます。

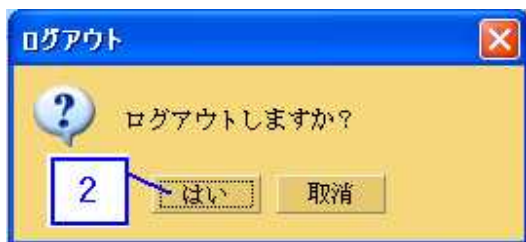


図 76

2. 「はい」ボタンをクリックして、ログアウト操作を確定します。

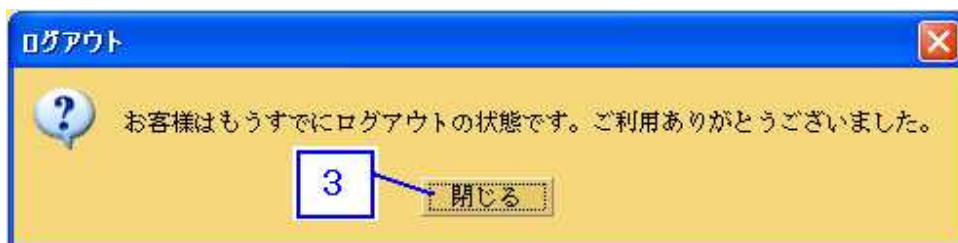


図 77

3. ログアウトが成功したことを示すダイアログボックスを閉じるには、「閉じる」ボタンをクリックします。

その他、ユーザーは、現在使用している itrading のバージョンにより、Web ブラウザ又はアプリケーションウィンドウの右上の隅にある「x」ボタンをクリックすることにより、ログアウトできます。



図 78

上記以外のログアウト操作は、不適切なログアウトとみなされます。例えば、コンピュータが異常停止し、ネットワーク接続を中断します。こうした状況の場合、次回、itrading システムにログインしようとするときに、ログイン警告が表示されると思われます。詳細については、第 4.3 項を参照して下さい。

貴方がアカウントを使用していない時、又は貴方がログインしたコンピュータの前に居ない時には、アカウントをログアウトすることは非常に重要です。不要な変化を避けるために、アカウントのログ

インセッションを無人のままにしないで下さい。貴方のパーソナルアカウントに損害又は損失が生じます。

4.3. ログイン警告

4.3.1. 不正ログアウト

ユーザーが最後のセッション中にシステムを正しくログアウトしなかった場合、警告メッセージが現われ、ユーザーはログインを確定するためにパスワードを再入力する必要があります。こうした状況为避免、アカウントの安全性を確保するためには、ユーザーがログアウト手順を常に正しく実行されることを強く推奨します。



図 79

1. 情報ダイアログボックスを閉じるためには「Close」ボタンをクリックします。



図 80

2. 最終セッションを無効にするためには、「オーバーライド」チェックボックスをクリックします。
3. ログイン情報を提供したことを確認した後、「ログイン」ボタンをクリックします。

4.3.2. ログイン無効

貴方が ETX Pro システムを使用している時に、下記のダイアログボックスがポップアップした場合、もう一つのパーティーがログインして貴方のアカウント情報を利用していることを意味します。従って、貴方の現在のセッションは終了します。

こうした状況は共有アカウントではありえます。しかし、アカウント所有者以外の他の人がアカウントにアクセスすべきでないパーソナルアカウントに生じた場合、ユーザーがアカウントプロバイダー又はカスタマーサービスエージェントに直ちに連絡して状況を理解させ、パーソナルアカウントの安全性を確保することが重要です。

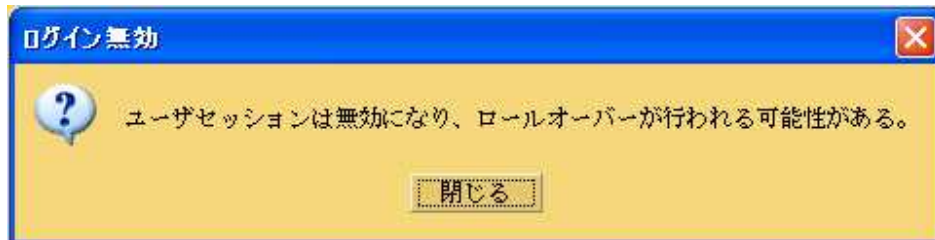


図 81

第5章 指値注文の種類

指値注文を完了する前に、ユーザーは、下記の情報を提供しなければなりません。

- 1) 当日/週末まで
- 2) 指値/逆指値/OCO

5.1. 週末

ユーザーが「当日」ラジオボックスを選択した場合、指値注文は現在の取引日内で有効です。ユーザーが「週末まで有効」ラジオボックスを選択した場合、指値注文は翌金曜日まで有効です。指値注文は、有効でない場合（即ち、選択した有効期間が満了した場合）、システムが自動的に指値注文を取消します。ユーザーは、「Limit Open Log」（第 2.8.2 項を参照して下さい）又は「Limit Settle Log」（第 2.8.4 項を参照して下さい）で指値注文のすべてを常に再表示することができます。

種類: ☒ 当日有効 ☐ 週末まで有効

図 82

5.2. 指値/逆指値/OCO

指値注文は、市場が活況になるまでユーザーが待ちたい場合に使用します。市場価格が指値に達した場合、対応する指値注文を執行します。

買い（売り）指値注文が有効であるためには、指値は、少なくとも、現在の市場アスク（ビッド）価格より低い（高い）一定のピップス数でなければなりません。 - ピップス差異

逆指値は、損失若しくは利益を阻止するためにポジションを清算する場合、又は価格が一定のピップス数により反対方向に変動する時、新しいポジションを開設するために市場が極端な状況になるまで待つ場合に使用します。市場価格が逆指値に達した場合、対応する指値注文を執行します

買い（売り）ストップ注文が有効であるためには、逆指値格は、少なくとも、現在の市場アスク（ビッド）価格より低い（高い）一定のピップス数でなければなりません。 - ピップス差異

指値及び逆指値の解釈は、新規指値の買い注文か売り注文かにより、下記の通り要約できます。

買い注文の場合、

- 指値は現在のアスク価格より安くなければなりません。
- 逆指値価格は現在のアスク価格より高くなければなりません。

売り注文の場合、

- 指値は現在のビッド価格より高くなければなりません。
- 逆指値は現在のビッド価格より低くなければなりません。

OCO（一方が成立した場合、他方を取消す）注文は、指値と逆指値との組合せです。ユーザーはこの種の注文では、指値と逆指値との両者を入力する必要があります。市場価格が指値又は逆指値に達した場合、対応する注文を執行します。しかし、その他の価格水準での残存注文は、自動的に取消されます。上記のピップスの差異要件に加えて、OCO 指値と逆指値との間の価格差も、一定数のピップスより大きくなければなりません。

ユーザーが指値のみを入力したい場合、指値のラジオボックスにチェックマークを付け、指値を入力することができます。

図 83

ユーザーが逆指値のみを入力したい場合、逆指値のラジオボックスにチェックマークを付け、逆指値を入力することができます。

図 84

ユーザーが OCO 指値注文を作成したい場合、「OCO」のラジオボックスにチェックマークを付けることができますが、ユーザーは指値と逆指値の両方を入力する必要があります。

図 85

指値/逆指値のラジオボタン又は OCO のチェックボックスにチェックマークを付けた場合、デフォルト価格が入力ボックスに表示されます。テキストボックスにタイプし、又はテキストボックスの隣の上/下の矢印をクリックして、指値又は逆指値を変更できます。

テキストボックスの数値が緑色で表示された場合、入力した指値又は逆指値が特定の状況に従い有効であることを意味します。しかし、数値が赤色で表示された場合、この指値又は逆指値が有効でないか、又は最早利用できないことを意味します。この場合、それに応じて数値を変更する必要があります。

第6章 新規成行

ユーザーがリアルタイム価格ビューアで特定の商品のビッド又はアスク価格でクリックした場合、成行注文伝票が表示されます。選択された商品、売り又は買いの種類及び市場価格は、マウスをクリックした位置に基づき既に伝票に記入されます。ユーザーは、ロットサイズを記入し、新規成行注文として伝票を送信することができます

通貨ペア	売値	買値	前売値	前買値	高値	安値	時刻
EURUSD	↑ 1.3131	1.3136	1.3130	1.3135	1.3146	1.3129	14:37:42
USDJPY	↓ 116.03	116.08	116.04	116.09	116.11	115.88	14:39:41
GBPUSD	↓ 1.9377	1.9382	1.9378	1.9383	1.9395	1.9374	14:39:39
USDCHF	↓ 1.2064	1.2069	1.2065	1.2070	1.2067	1.2050	14:39:09
EURJPY	↑ 152.39		152.38	152.45	152.45	152.31	14:39:26
GBPJPY	↓ 224.84		224.86	224.93	224.98	224.72	14:39:41
CHFJPY	↓ 96.15	96.22	96.16	96.23	96.21	96.10	14:38:50
CADJPY	↓ 102.36	102.43	102.37	102.44	102.44	102.25	14:39:41
AUDJPY	↓ 90.31	90.38	90.33	90.40	90.37	90.24	14:39:02

図 86

1. 成行注文を開始するためには、「売」側又は「買」側をクリックします。

図 87

2. * この未決済のポジションに指値決済注文を追加したい場合、「Add Limit Settle」にチェックマークを付けて下さい。

図 88

3. * 指値注文の種類当日/週末までを選択します（当日/週末までの詳細については、第 5.1 項を参照して下さい）。
4. * 「OCO」チェックボックスをクリックします（指値 / 逆指値 / OCO の詳細については、第 5.2 項を参照して下さい）。
5. 新規サイズを入力します。
6. 続けるためには、「提出」をクリックします。



図 89

7. 確定のために、「はい」をクリックします。



図 90

8. 新規成行注文がうまく完了した後、「閉じる」をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

* この新規ポジションに指値注文を追加したい場合、ステップ 2、3 及び 4 のみが必要です。

第7章 成行決済

7.1. 成行決済注文

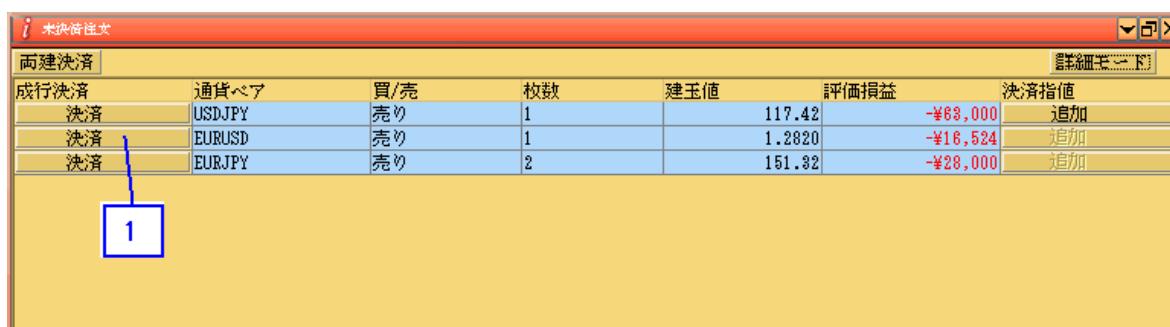


図 91

1. 「決済」ボタンをクリックして、新規ポジションを決済します。下記のダイアログボックスがポップアップし、決済情報を要求します。



図 92

2. ドロップダウンメニューで決済サイズを選択します
3. 「提出」ボタンをクリックして、注文を確定します。

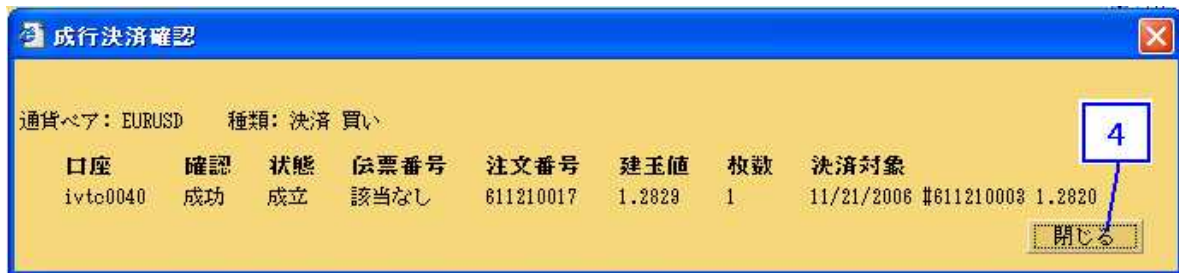


図 93

4. 「閉じる」ボタンをクリックして、返答ダイアログボックスを閉じます。

7.2. 併用決済

ユーザーが反対側で未決済の新規ポジションである特定の商品のビッド又はアスク価格をクリックした場合、成行決済伝票が現われ、ユーザーは過去に建てた注文を決済できます。
エラー！オブジェクトは、フィールドコードを編集することにより作成できません。

図 94

1. リアルタイム価格ビューで、反対側で未決済の新規ポジションである「売」側又は「買」側のボタンをクリックします



図 95

2. 決済サイズを選択します。
3. 続けるためには、「提出」ボタンをクリックします。



図 96

4. 「はい」ボタンをクリックして、注文を確定します。



図 97

5. 「閉じる」ボタンをクリックして、返答ダイアログボックスを閉じます。

7.3. 成行決済注文及び手動減少決済指値

ユーザーが既に指値決済注文を発注した新規ポジションを決済しようとする場合、任意の決済枚数により、不十分な残存ロットサイズが既に発注した指値決済注文をその対象に含むことはありえることです。これが生じた場合、ユーザーは下記を選択できます。

- 1) 指値注文の枚数を自動減少。
- 2) 指値注文の枚数を手動減少。



図 98

ユーザーが指値注文のサイズを指定して縮小することを選択した場合、下記のダイアログボックスがポップアップし、指定減小サイズの指図を要求します。



図 99

1. これは、未決済の成行決済注文を完了するために、ユーザーが縮小する必要があるロットサイズの合計数を示します。
2. 特定の指値決済注文を選択して、サイズを縮小します。ユーザーは、指値注文伝票のすべてについて指値注文サイズを自由に縮小できます。しかし、減小サイズの合計は、1.に記載した数に等しい必要があります。
3. 操作を続けるためには、「提供」ボタンをクリックします。



図 100

4. 「はい」ボタンをクリックして、確定します。



図 101

- 「閉じる」ボタンをクリックして、返答ダイアログボックスを閉じます。

第8章 新規指値

8.1. 新規指値伝票の追加

「ビュー」ボタンから「指値注文」を選択することにより、新規指値伝票を追加することができます。

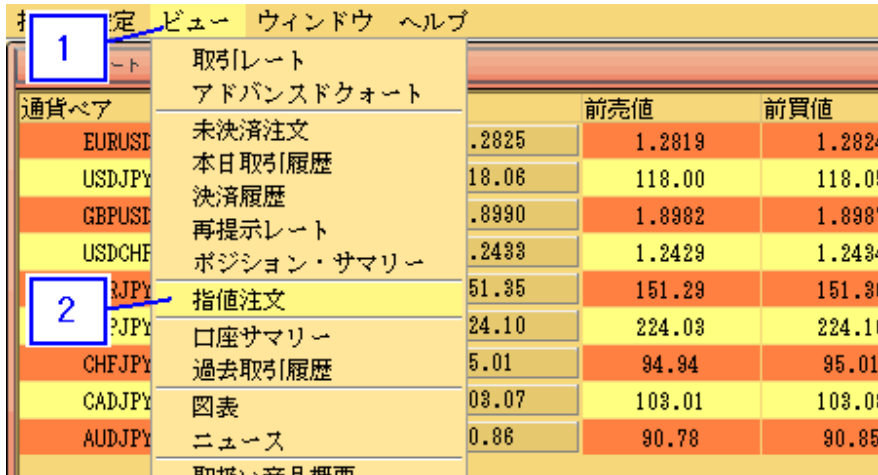


図 102

1. メニューバーから「ビュー」を選択します。
2. 「指値注文」を選択し、システムは、下記の通り新しいパネルをポップアップします。

図 103

3. 「指値注文」をクリックして、新規指値注文を表示します。
4. 指値注文パネルの「追加」ボタンをクリックします。

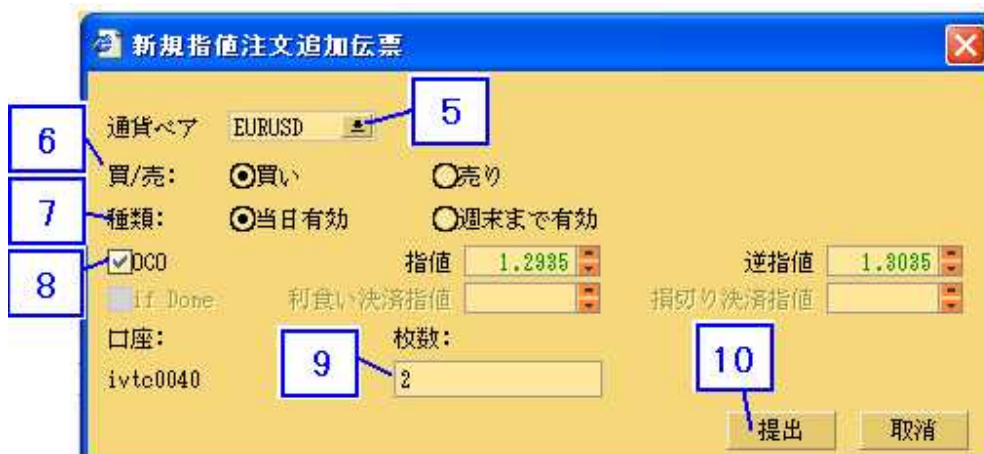


図 104

5. 通貨ペアを選択します。
6. 買 / 売のラジオボックスにチェックマークを付けて、新規指値注文伝票の項目を選択します。

7. 対応するラジオボックスにチェックマークを付けて、当日有効と週末まで有効との間で指値注文の種類を修正します。
8. 指値注文の種類 - OCO / 指値 / 逆指値（詳細については、第 5.2 項を参照して下さい）を選択します。
9. 新規指値のサイズを入力します。
10. 操作を続けるためには、「提出」をクリックします。



図 105

11. 「はい」ボタンをクリックして、新規指値注文を確定します。

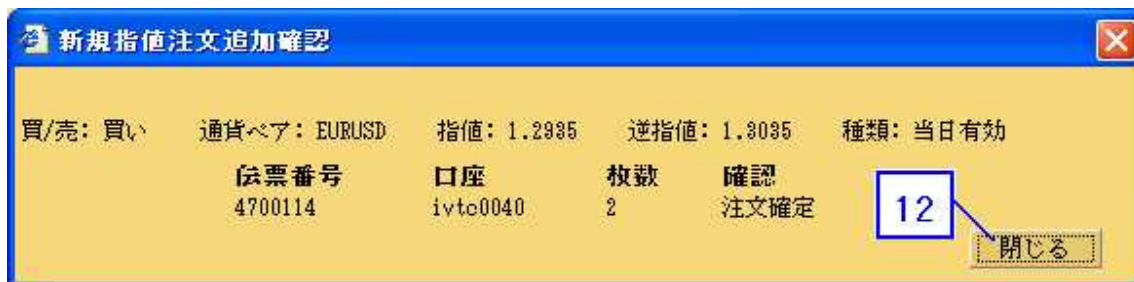


図 106

12. 「閉じる」ボタンをクリックして、応答ダイアログボックスを閉じます。

8.2. 新規指値伝票の修正

新規指値注文は、「新規指値」パネルで「修正」ボタンをクリックして、修正することができます。ユーザーは、当日有効/週末まで有効、OCO/指値/逆指値等、入力パラメーター及び新規指値伝票の修正伝票で特定の注文のサイズを変更できます。



図 107

1. メニューバーから「ビュー」を選択します。
2. 「指値注文」を選択します。システムは、下記の通り新しいパネルをポップアップします。



図 108

3. 「新規指値」をクリックして、新規指値注文を表示します。
4. 「修正」ボタンをクリックして、新規指値注文を修正します。



図 109

5. 対応するラジオボックスにチェックマークを付けて、当日有効と週末まで有効との間で指値注文の種類を修正します（当日有効と週末まで有効の詳細については、第 5.1 項を参照して下さい）。
6. 対応するラジオボックスにチェックマークを付けて、指値注文の種類 - OCO/指値/逆指値を変更します（詳細については、第 5.2 項を参照して下さい）。
7. 新規指値のサイズを修正します。
8. 操作を続けるためには、「提出」をクリックします。

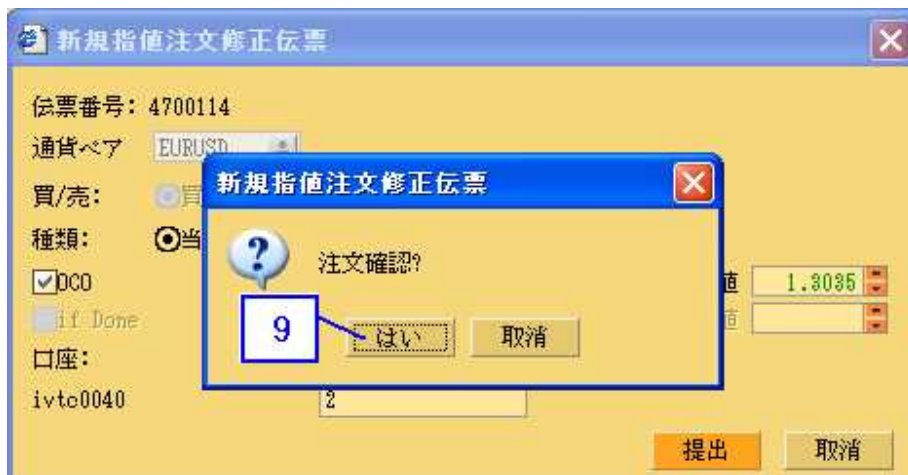


図 110

9. 「はい」ボタンをクリックして、指値注文の修正を確定します。



図 111

10. 「閉じる」ボタンをクリックして、応答ダイアログボックスを閉じます。

8.3. 新規指値注文の取消

新規指値注文は、新規指値パネルの「取消」ボタンをクリックして、取り消すことができます。クリックすると、「新規指値注文取消確認」が現われ、指値注文の取消が成功したことを示します。



図 112

1. メニューバーから「ビュー」を選択します。
2. 「指値注文」を選択します。システムは、下記の通り新しいパネルをポップアップします。



図 113

3. 「新規指値」をクリックして、新規指値注文を表示します。
4. 「取消」ボタンをクリックして、特定の新規指値伝票を取り消します。下記のダイアログボックスがポップアップします。

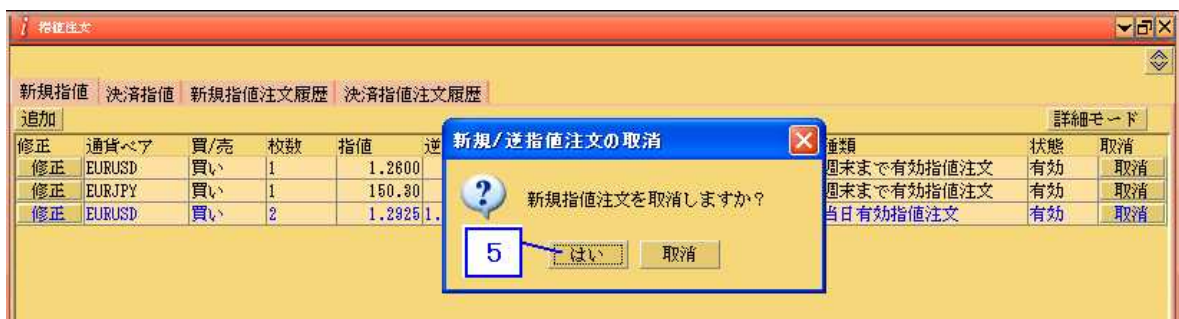


図 114

5. 「はい」ボタンをクリックして、取消を確定します。



図 115

- 「閉じる」ボタンをクリックして、応答ダイアログボックスを閉じます。

第9章 決済指値

9.1. 決済指値伝票の追加

新規ポジションに指値決済伝票を追加するには、2つの方法があります。第一の方法では、「決済指値」パネルから伝票を追加します。



図 116

- メニューバーから「ビュー」を選択します。
- 「指値注文」を選択します。システムは、下記の通り新しいパネルをポップアップします。



図 117

- 「決済指値」ボタンをクリックして、指値決済注文を表示します。

4. 操作を続けるためには、「追加」をクリックします。



図 118

5. 「追加」ボタンをクリックして、Add Limit Settle Ticket を開きます。



図 119

6. 指値決済伝票の買/売側
7. 対応するラジオボックスにチェックマークを付けて、当日有効と週末まで有効との間で指値注文の種類を選択します（当日有効と週末まで有効の詳細については、第 5.1 項を参照して下さい）。
8. ドロップダウンメニューで指値決済のサイズを選択します。
9. 指値注文の種類 - OCO/指値/逆指値を選択します（詳細については、第 5.2 項を参照して下さい）。
10. 操作を続けるためには、「提出」ボタンをクリックします。

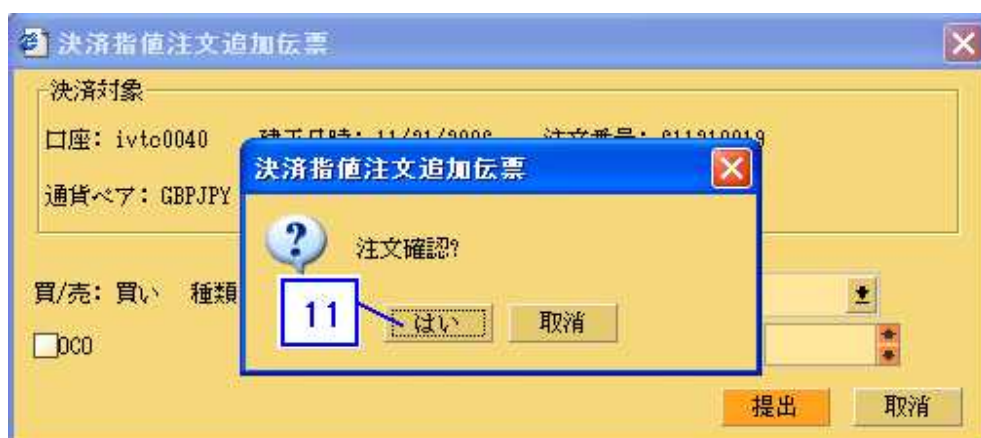


図 120

11. 「はい」ボタンをクリックして、指値決済注文を確定します。



図 121

12. 「閉じる」ボタンをクリックして、応答ダイアログボックスを閉じます。

第二の方法では、「未決済注文」パネルから伝票を追加します。

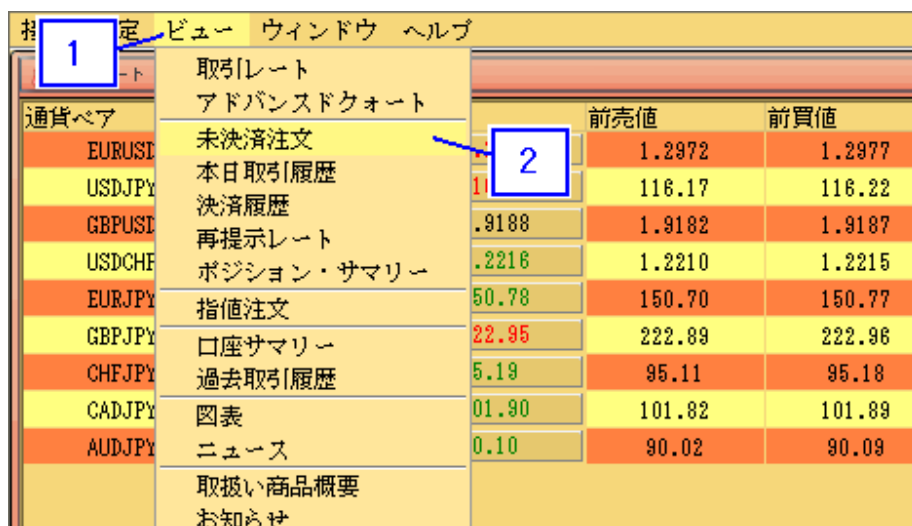


図 122

1. メニューバーから「ビュー」を選択します。
2. 「未決済注文」をクリックします。

成行決済	通貨ペア	買/売	枚数	建玉値	評価損益	決済指値
決済	GBPJPY	売り	2	224.78	-¥2,000	追加
決済	USDJPY	売り	2	116.03	-¥6,000	追加
決済	EURJPY	売り	2	152.81	-¥14,000	追加

図 123

3. 「追加」ボタンをクリックして、決済指値注文追加伝票を開きます。

図 124

4. 指値決済伝票の買/売側
5. 対応するラジオボックスにチェックマークを付けて、当日有効/週末まで有効との間で指値注文の種類を選択します（当日有効/週末まで有効の詳細については、第 5.1 項を参照して下さい）。
6. ドロップダウンメニューで指値決済のサイズを選択します。
7. 指値注文の種類 - OCO/指値/逆指値を選択します（詳細については、第 5.2 項を参照して下さい）。
8. 操作を続けるためには、「提出」ボタンをクリックします。



図 125

9. 「はい」ボタンをクリックして、指値決済注文を確定します。



図 126

10. 「閉じる」ボタンをクリックして、応答ダイアログボックスを閉じます。

9.2. 決済指値伝票の修正

指値決済注文は、決済指値パネルの「修正」ボタンをクリックして、修正することができます。ユーザーは、決済指値伝票の修正伝票で1日/週末、ロットサイズ、オーシーオー/リミット価格/ストップ価格等、特定の注文の入力パラメーターを変更することができます。



図 127

1. メニューバーから「ビュー」を選択します。
2. 「指値注文」を選択します。システムは、下記の通り新しいパネルをポップアップします。



図 128

3. 「決済指値」ボタンをクリックして、指値決済注文を表示します。
4. 「修正」ボタンをクリックして、決済指値修正伝票を開き、特定の未決済のポジションの指値決済を修正します。



図 129

5. 指値決済伝票の買/売側
6. 対応するラジオボックスにチェックマークを付けて、当日有効/週末まで有効との間で指値注文の種類を修正します（当日有効/週末まで有効の詳細については、第 5.1 項を参照して下さい）。
7. 指値決済のサイズを修正します。
8. 指値注文の種類 - OCO/指値/逆指値を修正します（詳細については、第 5.2 項を参照して下さい）。
9. 操作を続けるためには、「提出」ボタンをクリックします。

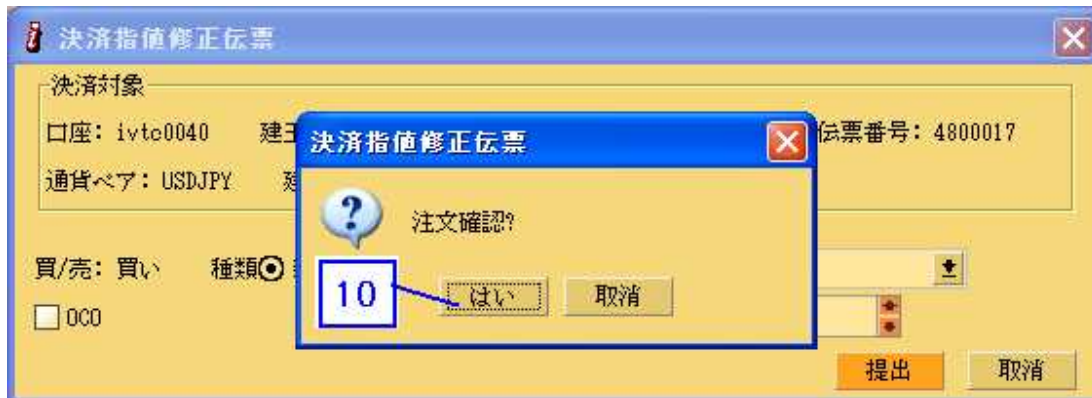


図 130

10. 「はい」ボタンをクリックして、修正を確定します。



図 131

11. 「閉じる」ボタンをクリックして、応答ダイアログボックスを閉じます。

9.3. 決済指値伝票の取消

決済指値注文は、決済指値パネルの「取消」ボタンをクリックして、取り消すことができます。クリックすると、「決済指値伝票取消確認」が現われ、注文の取消が成功したことを示します。



図 132

1. メニューバーから「ビュー」を選択します。
2. 「指値注文」を選択します。システムは、下記の通り新しいパネルをポップアップします。



図 133

3. 「決済指値」ボタンをクリックして、指値決済注文を表示します。
4. 「取消」ボタンをクリックして、特定の指値決済伝票を取り消します。下記のダイアログボックスがポップアップします。

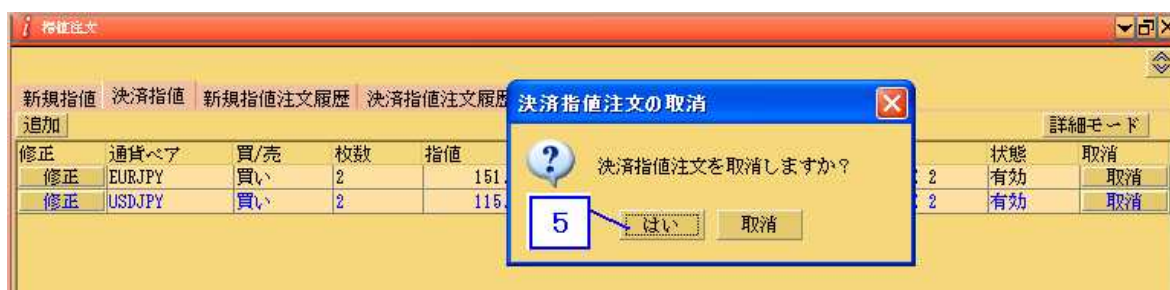


図 134

5. 「はい」ボタンをクリックして、取消を確定します。



図 135

6. 「閉じる」ボタンをクリックして、応答ダイアログボックスを閉じます。

第10章 図表

リアルタイムチャートは現在の価格の動きを表示します。トップのメニューにより、通貨ペア、チャート種類及び目盛りを選択でき、様々なテクニカル指標をチャートに追加することができます。マウスポインタをチャートの上に乗せると、垂直線及び水平線がチャートに現われます。取引日、取引時刻、高値ビッド、安値ビッド、始値及び終値等、垂直線に対応する数値は、自動的に上部に表示されます。水平線に対応する数値は、チャートの右方のY軸に表示されます。他の通貨を併せて表示するために、2以上のリアルタイムチャートパネルを開くことができます。詳細については、第2.4項を参照して下さい。

10.1. 通貨ペア

チャートを表示するために、メニューの任意の通貨ペアを単に選択します。



図 136

1. 現在のチャートを印刷します。
2. 現在のチャートをクリップボードにコピーします。
3. 任意の通貨を選択し、チャートに表示します

10.2. チャート種類

3つの異なるチャート種類があり、下記から選択します。:



図 137

1. 星足
2. 棒足
3. ローソク足 (図 128 に示す)

10.3. 時間目盛

利用できる時間の目盛りには、チックチャート、1 分、5 分、15 分、30 分、1 日及び 1 週間があります。利用できるポイント範囲は、100 から 2000 ポイントです。デフォルトでは、60 分、100 ポイントのチャートが選択されます。ユーザーは、チック又は 1 分等、より短い時間の目盛りを選択した場合、チャートのデータについてより詳細な表示を得ることができます。1500 ポイント又は 2000 ポイント等、ポイントのより大きな目盛りを選択した場合、より多くのデータをチャートに表示することができます。そのため、X 軸及び Y 軸の目盛りは、選択した時間及びポイントの目盛りにより決まります。



図 138

例えば、60 分 100 ポイントのチャートは、100 ポイントを示すチャートです。データは 60 分毎に収集されます。下記は、60 分 100 ポイントのチャートです。



図 139

例えば、60 分 1000 ポイントのチャートは、1000 ポイントを示すチャートです。データは 60 分毎に収集されます。下記は、60 分 1000 ポイントのチャートです。



図 140

10.4. テクニカル指標

テクニカル分析 (TA) 指標を選択するには、メニューの指標を単にクリックします。チャートから指標を削除するには、削除を単にクリックし、削除する指標を選択するために、ポップアップダイアログ【ボックス】が現われます。すべて削除をクリックして、すべての指標を削除することもできます。



図 141

例えば、ユーザーがアベレージトゥルーレンジ（ATR）を追加するとします。下記のダイアログボックスがポップアップされ、チャートでATRを表示する間隔と色を聞いてきます。「はい」をクリックしてテクニカル分析に追加します。

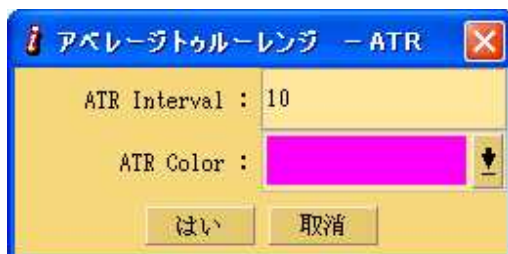


図 142



図 143

次に、ユーザーが移動平均収束発散 MACD を追加するとします。下記のダイアログボックスがポップアップされ、チャートで MACD を表示する間隔と色を聞いてきます。「OK」をクリックしてテクニカル分析に追加します。

図 144



図 145

ユーザーは、最大 2 つのテクニカル分析をチャートに追加することができます（移動平均のような特殊なテクニカル分析によりチャートに線を追加することができることに注意して下さい）。

一方、ユーザーは、チャートに追加したテクニカル分析を削除することができます。ユーザーが「補助線/表示」メニューの「すべて削除」をクリックした場合、テクニカル分析はすべて削除されます。ユーザーが「挿入したツールを削除」をクリックした場合、下記のダイアログボックスがポップアップされ、ユーザーは削除したいテクニカル分析を選択することができます。

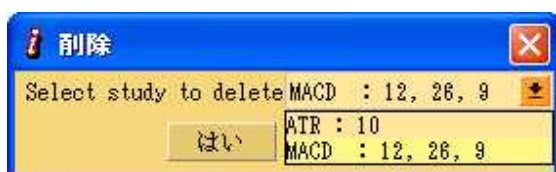


図 146

ドロップダウンメニューから削除したいテクニカル分析を選び、「はい」をクリックします。

10.5. 補助線 / 表示



図 147

1. 「挿入したツールを削除」 - ユーザーはチャートに適用した特定のツールを除去できます。
2. 「すべて削除」 - ユーザーはチャートに適用したすべてのツールを除去できます。
3. 「横グリッド線」 - 水平の格子線を表示します。
4. 「縦グリッド線」 - 垂直の格子線を表示します。
5. 「十字カーソル」 - 十字線をチャートに加えます。
6. 「ラインツールを解除」 - 第 8 から第 16 まで選択したツールを止めるには、このラジオボタンを選択します。
7. 「描いたラインを選択」 - この機能を選択し、チャートに表示された上記ツールをクリックして、編集します。
8. 「拡大」 - ユーザーはチャートを拡大することができます。
9. 「縮小」 - ユーザーはチャートを縮小することができます。
10. 「トレンド線」 - チャート領域にトレンド線を描くことができます。この線は灰色です。
11. 「水平線」 - チャート領域を選択し、クリックしたならば、下記の図 150 が示す通りダイアログ【ボックス】がポップアップします。
12. 「平行線」 - チャートに平行線を描くことを選択します。
13. 「円弧」 - ユーザーはチャートに弧を描くことができます。
14. 「リトレースメント」 - ユーザーはチャートに足跡を描くことができます。
15. 「ファンライン」 - ユーザーはチャートにファンラインを描くことができます。
16. 「サイクル」 - ユーザーはチャートに周期を描くことができます。



図 148

ユーザーは水平線の「Price Value」と「Color」を選択することができ、「はい」をクリックします。下記に示す通り、ラインがチャートに描かれます。



図 149

10.6. 拡大



図 150

最初に、図表メニューの補助線/表示から「拡大」を選択します。



図 151

拡大したいと思うチャート上で左のマウスボタンをクリックし、ホールドします。拡大したいと思うチャート領域の上をドラッグし、左のマウスボタンを離します。



図 152

選択した領域を拡大します。

縮小するためには、図表メニューの補助線から「拡大」を選択します。

10.7. チャートの注文

新規成行 / 指値注文については、第 6 章 / 第 8 章、及び成行 / 指値決済注文については、第 7 章 / 第 9 章に記載したステップを除き、ユーザーはチャート上でマウスの右ボタンをクリックして、チャートからこうした機能を実行することができます



図 153

1. 貴方が関心がある商品は右チャートであることをチェックし、確認します。
2. 実行したい必要な機能をクリックします。

* アカウントで上記の商品が新規ポジションではない場合、メニューの成行決済及び決済指値ボタンがアクティブではないことに注意して下さい。

機能を選択した場合、その機能に対応するフォーム又は伝票が表示されます。詳細な情報については、このメニューの関連する項目を参照して下さい。

第11章 アカウント

11.1. パスワードの変更

ユーザーの皆様がパスワードを定期的に変更され、パスワードのセキュリティを向上させるために推測しがたいパスワード（即ち、文字と数字の組合せ）を使用されることを推奨します。

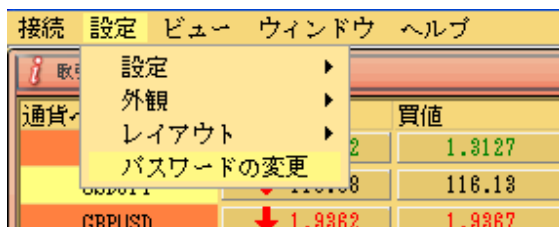


図 154

「設定」を選択し、「パスワードの変更」をクリックします

下記のダイアログボックスがポップアップします：

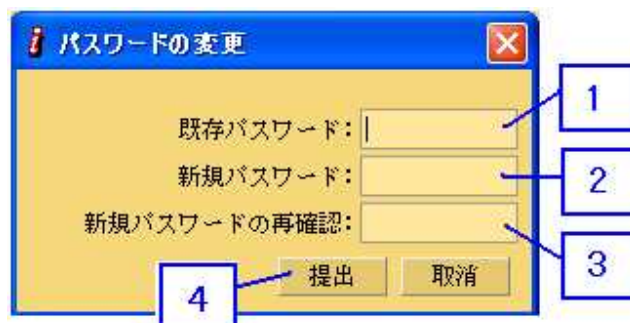


図 155

1. 現在のパスワードを入力します。
2. 新しいパスワードを入力します。
3. 新しいパスワードを確認します。
4. 操作を続けるためには、「提出」をクリックします。



図 156

5. パスワードの変更が成功した後、「閉じる」ボタンをクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

11.2. 口座サマリー

ユーザーは、メニューバーのビューの下にある「口座サマリー」タブで、現在のポートフォリオとアカウント情報を再表示することができます。



図 157

1. 「ビュー」から「口座サマリー」を選択します。



図 158

2. 「取引日」ボックスをクリックして、カレンダーのダイアログをアクティブにします。



図 159

3. 年を選択します。
4. 月を選択します。
5. 日を選択します。

日付の情報を選択したら、「口座サマリー」パネルにその日付のアカウント一覧が表示されます。

11.2.1. 明細書表示

項目	金額
取引日	11/23/2006
取引口座通貨種類	JPY
前日口座保有額	¥9,908,320
入金	¥0
出金	¥0
損失/利益	¥0
手数料	¥0
スワップ	-¥6,379
調整	¥0
残高	¥9,901,941
評価損益	¥284,000
有効証拠金	¥10,185,941
必要証拠金	¥800,000
使用可能証拠金	¥9,585,941

図 160

1. 「明細書表示」アイコンをクリックして、特定の取引日の口座明細書を表示します。

口座明細書

IVT1_demo

11/23/2006

印刷

2

口座

口座:ivtc0040

未決済注文

成約日時	注文番号	種類	建玉値	枚数	通貨ペア	評価損益	スワップ	成行注文/終値
11/21/2006	611210019	売り	224.06		2GBPJPY	¥284,000	-¥6,379	222.64

決済履歴

成約日時	注文番号	種類	仕切値	枚数	通貨ペア	損失/利益	手数料	建玉日時	新規注...	建玉値
------	------	----	-----	----	------	-------	-----	------	--------	-----

サマリー

名前: ivtc0040 test

取引日: 11/23/2006

取引口座通貨種類: JPY

前日口座保有額: ¥9,908,320

入金: ¥0

出金: ¥0

損失/利益: ¥0

手数料: ¥0

スワップ: -¥6,379

調整: ¥0

残高: ¥9,901,941

=====

評価損益: ¥284,000

有効証拠金: ¥10,185,941

必要証拠金: ¥600,000

使用可能証拠金: ¥9,585,941

=====

図 161

2. 口座明細書を印刷したい場合、「印刷」ボタンをクリックして下さい。